第十一次基本計画　実施計画（目的指向体系表）

政策目標2　誰もが健やかに暮らし活躍できるまち

施策2－１　地域医療の充実

施策2－２　健康づくり支援

施策2－３　出産・子育て支援の充実

施策2－４　保育及び幼児教育の充実

施策2－５　高齢者福祉の充実

施策2－6　障がい者福祉の充実

施策2－7　地域福祉の充実

施策2－8　多様性のある社会の実現

施策2－9　保険・年金制度の運営

担当課		健康推進課	施策２－１の全指標達成率					
政策目標	2	誰もが健やかに暮らし活躍できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	1	地域医療の充実	指標数	9	9	9	9	9
目指す姿		市民・観光客等が質の高い医療を受けることができる	達成数	8	7	8	0	0
			達成率	88.9%	77.8%	88.9%	0.0%	0.0%

1　成果指標（ＫＰＩ）

	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	1	1	1	1	1
達成数	1	1	1	0	0
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%

成果指標	地域医療支援病院の継続	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1 承認要件達成	目標値	要件達成	要件達成	要件達成	要件達成	要件達成		健康推進課
			実績値	要件達成	要件達成	要件達成				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				

目標値の考え方	地域医療支援病院の継続は、「紹介率80%以上」、「紹介率65%以上かつ逆紹介率40%以上」、「紹介率50%以上かつ逆紹介率70%以上」のいずれかを満たすことが承認要件の一つとされていることから、目標値は数値目標とはせず要件達成とした。
R3年度	（実績評価）・地域医療支援病院の承認要件について、「紹介率65%以上かつ逆紹介率40%以上」を達成することができた。 （次年度修正点）・今後も医療機関の機能分担について啓発を行い、市内・市外の医療機関との連携を密に行うことにより病診連携を進めていく。
R4年度	（実績評価）・地域医療支援病院の承認要件について、「紹介率65%以上かつ逆紹介率40%以上」を達成することができた。 （次年度修正点）・今後も医療機関の機能分担について啓発を行い、市内・市外の医療機関との連携を密に行うことにより病診連携を進めていく。
R5年度	（実績評価）・地域医療支援病院の承認要件について、「紹介率65%以上かつ逆紹介率40%以上」を達成することができた。 （次年度修正点）・今後も医療機関の機能分担について啓発を行い、市内・市外の医療機関との連携を密に行うことにより病診連携を進めていく。
中間評価	（達成状況）A
	（実績評価）・地域医療支援病院の承認要件について、「紹介率65%以上かつ逆紹介率40%以上」を達成することができた。
	（今後の対応）・医療機関の機能分担について引き続き啓発していき、地域の診療所と連携を図りながら病診連携を進めていく。

2　基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）

	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	8	8	8	8	8
達成数	7	6	7	0	0
達成率	87.5%	75.0%	87.5%	0.0%	0.0%

※ 基本的な取組・主な内容の達成状況

01　地域内の医療連携の推進

達成状況	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	2	2	2	2	2
達成数	2	1	2	0	0
達成率	100.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%

主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0101	伊東市医師会と協力した伊東市民病院と地域内の医療機関の連携強化	伊東市民病院における患者紹介率	R1 67.8%	目標値	70.0	72.0	75.0	77.0	80.0	% 以上	健康推進課
				実績値	72.3	67.4	75.8				
				評　価	○　達成	×　未達成	○　達成				
0102	市民へのかかりつけ医を持つことの推奨	伊東市民病院からの患者逆紹介率	R1 90.0%	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	% 以上	健康推進課
				実績値	92.6	90.2	106.5				
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成				

年度評価	
R3	0101 紹介率は目標に達していることから、今後も医療機関の機能分担について啓発を行うことで紹介率の維持、向上につなげる。
	0102 逆紹介率は目標に達していることから、今後も伊東市民病院内の地域医療連携室を中心に、市内・市外の医療機関との連携を密に行うことにより、病診連携をこれまで以上に進める。
R4	0101 紹介率は目標に達しなかったが、新型コロナウイルス感染症対策として年間を通じて発熱等診療医療機関になっている診療所においても有症状者の診療が積極的に行われたことが影響し、紹介患者が減少したことによるものである。引き続き地域の医療機関との連携を進めていく。
	0102 逆紹介率は目標に達していることから、今後も伊東市民病院内の地域医療連携室を中心に、市内・市外の医療機関との連携を密に行うことにより、病診連携をこれまで以上に進める。
R5	0101 紹介率は目標に達していることから、今後も医療機関の機能分担について啓発を行うことで紹介率の維持、向上につなげる。
	0102 逆紹介率は目標に達していることから、今後も伊東市民病院内の地域医療連携室を中心に、市内・市外の医療機関との連携を密に行うことにより、病診連携をこれまで以上に進める。

中間評価	
0101（達成状況）	B+
（実績評価）	・令和４年度は新型コロナウイルス感染症等の影響により一時的に未達成となったが、令和３年度及び令和５年度は目標値を超えている。
（今後の対応）	・地域の診療所である「かかりつけ医」を支援するための入院患者受入れや救急医療を維持し、連携強化を図る。
0102（達成状況）	A
（実績評価）	・逆紹介率は目標に達している。
（今後の対応）	・医療機関の機能分担について引き続き啓発していき、地域の診療所と連携を図りながら病診連携を進めいていく。

02　伊東市民病院の運営の充実

達成状況						
指標数	1	1	1	1	1	
達成数	0	0	0	0	0	
達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0201	伊東市民病院の医療機能の向上と健全な経営	伊東市民病院の常勤職員数	R1 414人	目標値	420	420	420	420	420	人以上	健康推進課
				実績値	400	394	385				
				評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				

年度評価

R3	0201	昨年度に比べ常勤職員数は増加しているものの、全体の職員数は目標値には届かず不足していることから、引き続き伊東市民病院と連携し支援を行っていく。
R4	0201	常勤職員数は目標に達しなかったことから、引き続き伊東市民病院と連携し、医師確保に向けた交付金を活用することで、医療機能の向上と健全な経営に向けた支援をしていく。
R5	0201	常勤職員数は目標に達しなかったことから、引き続き伊東市民病院と連携し、医師確保に向けた交付金や医療職をはじめとした専門職に対する移住補助を活用することで、医療機能の向上と健全な経営に向けた支援をしていく。

中間評価

0201（達成状況）**D**

（実績評価）	・常勤職員数について、全国的に医療機関での人材が不足しており目標値には達していない。
（今後の対応）	・看護師や助産師を対象にした奨学金事業や、就労環境の向上を図るための保育所運営のほか、確保が困難な診療科の常勤医師採用促進事業を支援し、医療従事者の充実を図る。

03　救急医療体制の整備

達成状況						
指標数	2	2	2	2	2	
達成数	2	2	2	0	0	
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0301	伊東市民病院が担う第二次救急医療体制の整備	診察日数	R1 366日	目標値	365	365	366	365	365	日	健康推進課
				実績値	365	365	366				
				評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
0302	第一次救急医療を担う伊東市立夜間救急医療センターや地域内の医療機関及び第三次救急医療機関との連携強化	第一次、第二次救急の診察日数	R1 366日	目標値	365	365	366	365	365	日	健康推進課
				実績値	365	365	366				
				評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				

年度評価

R3	0301	診察日数は目標に達していることから、現在の救急医療体制を継続するとともに、伊東市民病院での救急医療機能の高度化に向け専門医の確保等、病院と連携し支援を行っていく。
	0302	診察日数は目標に達していることから、現在の第一次救急医療体制として伊東市医師会による夜間救急医療センターの診療を維持するとともに、伊東市民病院や第三次救急医療機関との連携を維持していく。
R4	0301	診察日数は目標に達していることから、現在の救急医療体制を継続するとともに、伊東市民病院での救急医療機能の高度化に向け専門医の確保等、病院と連携し支援を行っていく。
	0302	診察日数は目標に達していることから、現在の第一次救急医療体制として伊東市医師会による夜間救急医療センターの診療を維持するとともに、伊東市民病院や第三次救急医療機関との連携を維持していく。
R5	0301	診察日数は目標に達していることから、現在の救急医療体制を継続するとともに、伊東市民病院での救急医療機能の高度化に向け専門医の確保等、病院と連携し支援を行っていく。
	0302	診察日数は目標に達していることから、現在の第一次救急医療体制として伊東市医師会による夜間救急医療センターの診療を維持するとともに、伊東市民病院や第三次救急医療機関との連携を維持していく。

中間評価

0301（達成状況）**A**

（実績評価）	・診察日数は目標に達している。
（今後の対応）	・現在の救急医療体制を継続するとともに、伊東市民病院での救急医療機能の高度化に向け専門医の確保等、病院と連携し支援を行っていく。

0302（達成状況）**A**

（実績評価）	・診察日数は目標に達している。
（今後の対応）	・現在の第一次救急医療体制として伊東市医師会による夜間救急医療センターの診療を維持するとともに、伊東市民病院や第三次救急医療機関との連携を維持していく。

04　観光と医療との連携推進

達成状況		R3	R4	R5	R6	R7
	指標数	2	2	2	2	2
	達成数	2	2	2	0	0
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%

	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0401	来遊客も安心して訪れることができる救急医療体制の整備	休日当番医診療日数	R1 76日	目標値	71	71	71	71	71	日 以上	健康推進課
				実績値	71	71	72				
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0402	来遊客の利用も考慮した医観連携の推進に資する健診機能の充実	健診センター数	R1 1施設	目標値	1	1	1	1	1	施設 以上	健康推進課
				実績値	1	1	1				
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成				

年度評価

R3	0401 診療日数は目標に達していることから、今後も伊東市医師会による休日当番医制及び伊東市民病院による時間外診療、第二次救急医療を実施していく。
	0402 健診センターの利用者の増加を図るため、市民病院において広報を行うとともに、来遊客についても受入れを進めていく。
R4	0401 診療日数は目標に達していることから、今後も伊東市医師会による休日当番医制及び伊東市民病院による時間外診療、第二次救急医療を実施していく。
	0402 健診センターの利用者の増加を図るため、市民病院において広報を行うとともに、来遊客についても受入れを進めていく。
R5	0401 診療日数は目標に達していることから、今後も伊東市医師会による休日当番医制及び伊東市民病院による時間外診療、第二次救急医療を実施していく。
	0402 健診センターの利用者の増加を図るため、市民病院において広報を行うとともに、来遊客についても受入れを進めていく。

中間評価

0401（達成状況）	A
（実績評価）	・診察日数は目標に達している。
（今後の対応）	・今後も伊東市医師会による休日当番医制及び伊東市民病院による時間外診療、第二次救急医療を実施していく。
0402（達成状況）	A
（実績評価）	・健診センターの設置数は目標に達している。
（今後の対応）	・引き続き健診センターの設置を維持し、利用者の増加を図るため広報を実施する。

05　災害医療体制の充実

達成状況		R3	R4	R5	R6	R7
	指標数	1	1	1	1	1
	達成数	1	1	1	0	0
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%

	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0501	災害拠点病院機能の維持	県医療救護計画における伊東市民病院の位置づけ	R1 災害拠点病院	目標値	災害拠点病院	災害拠点病院	災害拠点病院	災害拠点病院	災害拠点病院		健康推進課
				実績値	災害拠点病院	災害拠点病院	災害拠点病院				
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成				

年度評価

R3	0501 地域災害拠点病院として、災害用医療資器材を整備していくことなどにより、災害医療体制をこれまで以上に充実させる。
R4	0501 地域災害拠点病院として、災害用医療資器材を整備していくことなどにより、災害医療体制をこれまで以上に充実させる。
R5	0501 地域災害拠点病院として、災害用医療資器材を整備していくことなどにより、災害医療体制をこれまで以上に充実させる。

中間評価

0501（達成状況）	A
（実績評価）	・災害拠点病院の指定を受けることで、目標は達成している。
（今後の対応）	・災害拠点病院用の医療資機材整備や防災訓練を通じ、災害医療体制を充実させる。

担当課		健康推進課
政策目標	2	誰もが健やかに暮らし活躍できるまち
施策分野	2	健康づくり支援
目指す姿		市民がライフステージに合った、健康的でいきいきとした生活を送ることができる

施策２－２の全指標達成率					
年度	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	19	19	19	20	20
達成数	4	4	6	0	0
達成率	21.1%	21.1%	31.6%	0.0%	0.0%

1　成果指標（ＫＰＩ）

	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	1	1	1	2	2
達成数	0	0	0	0	0
達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

成果指標1　健康寿命（お達者度）

基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
H28	目標値	男性18.08 女性20.84	男性18.22 女性20.93	男性18.37 女性21.01	男性18.51 女性21.10	男性18.65 女性21.19	年	健康推進課
男性17.48年 女性20.30年	実績値	―	―	―	―	―		
	評　価	―	―	―	―	―	以上	

成果指標1　お達者年齢

基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
※1	目標値	―	―	―	―	―	歳	健康推進課
	実績値	男性79.0 女性84.2	男性78.8 女性84.2	公表時期未定				
	評　価	―	―	―	―	―	以上	

目標値の考え方　長く健康で自立した生活を送るため、静岡県の過去公表資料を基に推計した将来予測値を設定。今後、令和３年度以降の実績を基に、令和８年度以降の推計をしていく。

成果指標2　健康意識（いとう健康マイレージ参加者数）

基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
R1	目標値	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	人	健康推進課
17,550人	実績値	16,032	16,701	17,014				
	評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成			以上	

目標値の考え方　健康づくりに取り組むきっかけとし、各種健康診断やがん検診等の受診促進と、健康教室や介護予防活動などへの参加を通じ運動習慣を持つ人の増加につなげることで、伊東市民の健康意識の向上と健康寿命の延伸を図る。

R5年度

2（実績評価）・運動教室や健康相談などが再開できたたことや医療機関への受診控えも少なくなり参加者の増加傾向が見られたが、健診受診者はコロナ禍以前までの状態には回復しなかったことにより、目標は未達成となった。

（次年度修正点）・健康マイレージ対象事業である検（健）診や健康講座の周知を図り、健康づくりに取り組む市民を増やす。

中間評価

1（達成状況）　―

（実績評価）・お達者度は令和５年度に公表された令和２年度実績をもって廃止となり、令和６年９月９日に公表された令和３年度実績からは、算出方法が異なるお達者年齢にて管理していくこととなった。

（今後の対応）・新たな成果指標としてお達者年齢を新設する。目標値は、令和３年度以降の実績を基に、令和８年度以降の推計をしていくため、「－」とする。

2（達成状況）　B−

（実績評価）・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため健（検）診の受診控えや健康講座などが中止されていたが、令和５年度は対象事業である健（検）診や講座等が全て再開したことにより利用者が増加したものの、目標達成とはならなかった。

（今後の対応）・健康マイレージの対象事業である健（検）診や健康講座の周知を図るため、チラシの内容の改善やメールマガジンなどの活用などを検討し、健康づくりに取り組む市民を増やす。

※１お達者度は令和５年度に公表された令和２年度実績をもって廃止となり、令和６年９月９日に公表された令和３年度実績からは、算出方法が異なるお達者年齢にて管理していくこととなったため、成果指標を変更する。令和３年度以降の実績を集計し、令和８年度以降の目標値を推計していく。

2　基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）	指標数	18	18	18	18	18	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況
	達成数	4	4	6	0	0	
	達成率	22.2%	22.2%	33.3%	0.0%	0.0%	

01　ライフステージに応じた健康づくりの推進	達成状況	指標数	2	2	2	2	2	
		達成数	0	0	1	0	0	
		達成率	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0101　年代別の健康の特徴に合わせた事業の実施	健康教育利用者数	R1 7,378人	目標値	7,398	7,418	7,438	7,458	7,478	人以上	健康推進課
			実績値	3,327	4,819	5,823				
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				
0102　民間施設や運動指導の専門職等と連携した参加しやすい健康づくり事業の実施	運動初心者を対象にした教室※2の延べ参加者数	R1 527人	目標値	700	700	700	700	700	人以上	健康推進課
			実績値	324	642	817				
			評　価	×　未達成	×　未達成	○　達成				

年度評価

R3	0101　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、教室は中止又は参加人数の制限等規模を縮小して実施している。特に不特定多数が参加するキャンペーン事業を中止したため利用者数が大幅に減少した。
	0102　同上の理由により、参加者数が減少している。また２つの運動教室が高齢者福祉課へ移ったことも参加者数の減少の要因となっている。
R4	0101　新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたため、事業所等での健康講座を再開し、各種健康教室への参加者が増加した。しかし、健康チェック事業や健康づくりキャンペーンなどの不特定多数が参加する事業は中止しているため、今後は感染症対策を行いながら再開していきたい。
	0102　新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた教室を再開したことにより、それぞれの教室参加者が増加した。教室実施時期を感染症が落ち着いてきた12月以降にしたことで、市民が参加しやすくなったことが要因と考えられる。引き続き、感染症対策を行いながら、市民に魅力ある教室内容を提供するように努める。
R5	0101　健康チェック事業や各種健康教室などの開催回数が増えたため、利用者の増加につながった。しかしながら、目標値に達しなかったのは機会の提供が不足していると考えるので、充足を図る。
	0102　運動習慣の促進を目的とした、新規健康講座の開催など各種教室の開催回数が増えたため。

中間評価

0101（達成状況）	**D**
（実績評価）	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため健康チェック事業、健康講座など市民が参加する事業が中止又は人数を制限して実施したため、利用者が減少した。令和５年度は開催回数が増加したことにより利用者数の増加につながった。
（今後の対応）	・地域の健康課題である循環器病や糖尿病等生活習慣病に対応した健康教育について、市民が参加しやすい場所や時間帯を考慮するとともに職域との連携を図り、より多くの市民の参加を目指す。
0102（達成状況）	**B+**
（実績評価）	・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、教室の中止や参加人数の制限などにより目標に達しなかったが、令和５年度は各教室を再開したことや、新規健康講座の開催などにより目標が達成できた。
（今後の対応）	・これまで参加が少なかった40-50代の市民が参加しやすい場所や時間帯を検討するとともに、民間施設や講師と連携し、より身近で運動ができる環境づくりを目指す。

※2　運動初心者を対象にした教室：運動を始めたいきっかけエクササイズ、男のリラックス、ゆるトレレディース、特定保健指導運動支援等

02　生活習慣病対策

達成状況						
指標数	3	3	3	3	3	
達成数	0	0	0	0	0	
達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0201 生活習慣病に関する知識の普及啓発	特定保健指導実施率	R1 33.8%	目標値	49.0	54.0	60.0	35.0	40.0	% 以上	健康推進課
			実績値	30.5	26.3	18.6				
			評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
0202 禁煙・受動喫煙に関する情報提供	女性の喫煙率	R1 11.3%	目標値	10.0	10.0	9.0	9.0	9.0	% 以下	健康推進課
			実績値	10.6	11.2	11.2				
			評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
0203 歯周病等歯の健康に関する健康教育の実施	歯科教育への参加人数	R1 3,709	目標値	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	人 以上	健康推進課
			実績値	2,080	2,478	2,585				
			評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				

年度評価

R3

0201 保健師等からの電話による利用勧奨や、医療機関等による利用勧奨などを実施しているが、勧奨通知だけでは利用に至らないケースが多く、また、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での指導を拒否するケースもあったため、実施率は減少した。

0202 各種健康相談での個別禁煙指導や、職域健診時の禁煙に関する情報提供を行ったことにより、喫煙率は減少しているものの、目標達成には至らなかった。

0203 新型コロナウイルス感染症拡大による講座・教室等が中止になったことに伴う参加人数の減。国・県からの新型コロナウイルス関連情報の収集を積極的に行い、開催時期の変更など検討する。

R4

0201 個別対応となる特定保健指導については、経済活動を優先するなど利用を控える傾向が見られ、前年度を下回った。今後は、ＩＣＴの利活用など対象者が気軽に利用できるサービスを提供できるように努めたい。

0202 新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなり、特定健診受診率は増加した一方で、喫煙率は減とならなかった。今後も継続的に禁煙、受動喫煙の健康への影響について周知していく。

0203 令和４年度においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等の理由による歯科教室等の一部中止や、対象施設の園児、児童、生徒数の減少により、目標人数を大幅に下回った。社会的要因に影響を受けるが、継続的に周知方法も考慮して事業展開していく。

R5

0201 特定保健指導対象者に対して面談指導等の機会を複数用意しているが、４０、５０歳代の利用率の低さに加えて、勧奨専門職員の確保が困難であった。引き続き、有資格者専門職人員の安定的確保を図り、事業の充実に努めていく。

0202 健康相談を１３回１，３４４人、健康教育を２１回４６３人に対して実施した。喫煙が習慣化している人へのアプローチ方法に改善が求められている。各種好事例等を参考に対応を検討したい。

0203 対象施設での歯科教室等の実施回数が増加したことで参加人数も増加した。実施内容としては、対象となる施設と打ち合わせを行い、適切な支援を施設毎に提供している。児童生徒数の減少が大きく影響しているが、歯科教室等の開催方法について、様々な機会を捉えて実施していく。

中間評価

0201（達成状況） **D**

（実績評価）・慢性的な利用者の少なさに加え、指導体制に不可欠な専門職の確保が十分にできず、実施率は低下傾向となった。

（今後の対応）・新たに策定した伊東市国民健康保険第４期特定健康診査等実施計画に基づき、対象者が自身の健康状態を自覚し、生活習慣の改善のための自主的な取組を継続的に行うことができるよう支援するなど、市民の生活習慣病対策を講じていく。

0202（達成状況） **D**

（実績評価）・継続的に健康相談、健康教育を実施してきたが、女性の喫煙率を低下させるまでの効果は得られなかった。

（今後の対応）・引き続き、第四次伊東市保健計画、伊東市国民健康保険第3期データヘルス計画に基づき、歯科保健と連携しながら禁煙及び受動喫煙に関する情報提供や注意喚起を行うなど、効果的に事業を推進していく。

0203（達成状況） **D**

（実績評価）・新型コロナウイルス感染症が5類になったことで、施設訪問の回数が増え参加人数も増加した。しかし、子どもの数の減少などで目標値に届いていない。

（今後の対応）・積極的に対象施設等からの依頼に応対し、より多くの健康教育の実施と、他職種と連携を図り効果的な支援を行う。

03　健全な食生活の推進

達成状況						
指標数	2	2	2	2	2	
達成数	1	1	1	0	0	
達成率	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	

	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0301	ホームページ等ＩＣＴを活用した望ましい食生活の情報発信	ICT活用回数	― ※3	目標値	4	4	5	5	6	回以上	健康推進課
				実績値	8	8	6				
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0302	伊東ならではの食材を生かした地域の食文化の継承、食育推進団体との連携強化	食育推進団体活動延べ人数	R1 2,804	目標値	1,000	2,500	2,600	2,700	2,800	人以上	健康推進課
				実績値	878	869	1,396				
				評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				

年度評価

R3	0301 新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、栄養講話や料理教室が中止となったため、料理動画を撮影し普及啓発に努めた。
	0302 新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、食のイベント等が中止となったため。
R4	0301 ICT活用回数は目標に達していることから、今後も望ましい食生活の情報を発信し、健全な食生活を推進していく。
	0302 登録団体は、昨年度より1団体少なく23団体であった。また、コロナ禍で食イベントの活動が中止となり、目標値は達成できなかった。引き続き食育推進団体と連携し、活動の増加を目指す。
R5	0301 ＩＣＴ活用回数は目標に達していることから、今後も望ましい食生活の情報を発信し、健全な食生活を推進していく。
	0302 登録団体は、昨年度より４団体少なく１９団体であった。コロナ禍以降の食イベントが縮小していて、目標値は達成できなかったが、「産業フェアしずおか2023」を視察し、他地域の地産地消やＰＲ方法等を学び、連携強化に努める。

中間評価

0301（達成状況）	**A**
（実績評価）	・令和５年度は、６本の動画で視聴回数は１，８５８回であった。視聴回数以外にも、映像は健康づくり教室等でも活用できた。
（今後の対応）	・現状の人員配置、予算内であっても、優れた情報発信のため、継続して普及啓発に努めていく。
0302（達成状況）	**D**
（実績評価）	・昨年度に比べ活動延べ人数は増加しているものの、登録団体数が減り、食のイベント数も少なく目標値には届かなかった。食育推進研修会1回、視察研修を1回実施し、連携強化に努めた。
（今後の対応）	・管理指標としている団体活動延べ人数の目標値に到達するため、食育推進事業の内容の充実化を図り、関係する企業団体の社員等に関心を高めてもらう好循環サイクルを目指す。

※3　令和３年度からの新規事業のため、基準値を－とした。

04　受診しやすい健（検）診の環境づくりと健（検）診内容の充実

達成状況						
指標数	1	1	1	1	1	
達成数	0	0	0	0	0	
達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0401	伊東市医師会等と連携した受診しやすい体制の整備	各種健（検）診の市内での実施医療機関の増加数 ※4	R1 0機関	目標値	2	2	2	2	2	毎年以上	健康推進課
				実績値	0	1	1				
				評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				

年度評価

R3	0401 伊東市医師会等と連携した受診しやすい体制の整備を目指したが増加はできなかった。今後も市民からの要望が多い、各種健（検）診を同じ会場で受診できる総合的な健（検）診体制の整備を目指し、実施医療機関数を増やしていく。
R4	0401 目標の２件増加までは達成できなかったが、特定健診・後期高齢者健診実施医療機関が１件増え、大腸がん・39歳以下健診等の健（検）診と同時にできる医療機関が増えた。引き続き受診機会の増加に向けて、受診動向を踏まえ伊東市医師会等へ働きかけたい。
R5	0401 特定健診と後期高齢者健診の実施医療機関が１機関増加した。

中間評価

0401（達成状況）	**D**
（実績評価）	・令和３年度の増加数はなかったが、Ｒ４年度以降は特定健診と後期高齢者健診の実施医療機関が毎年１機関増加した。
（今後の対応）	・引き続き伊東市医師会等と連携し、実施医療機関の増加に向けて協議していく。

※4 市外での実施医療機関体制構築が困難なため、管理指標を「市内」と修正したことに伴い、目標値を「3」から「2」とした。

05　こころの健康づくりの推進

達成状況		R3	R4	R5	R6	R7
	指標数	6	6	6	6	6
	達成数	3	3	3	0	0
	達成率	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0501 健康講座等における情報提供の充実	情報提供機会	R1 5回	目標値	15	20	25	25	25	回以上	健康推進課
			実績値	15	15	15				
			評　価	○　達成	×　未達成	×　未達成				
0502 庁内各部署及び伊東市医師会等関係機関とのネットワークを利用した支援体制の構築と人材育成	会議開催数	R1 1回	目標値	1	1	1	1	1	回以上	健康推進課
			実績値	0	0	0				
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				
	研修開催数（職員対象自殺対策研修）	R1 1回	目標値	1	1	1	1	1	回以上	健康推進課
			実績値	1	1	1				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
	研修開催数（ゲートキーパー研修）	R1 2回	目標値	2	2	2	2	2	回以上	健康推進課
			実績値	3	3	3				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0503 インターネットを利用したセルフチェックの普及啓発	こころの体温計アクセス数	R1 8,587件	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	件以上	健康推進課
			実績値	7,395	6,702	6,776				
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				
0504 こころの相談事業の利用促進	メンタル相談の実施回数	R1 10回	目標値	12	12	12	12	12	回以上	健康推進課
			実績値	10	12	12				
			評　価	×　未達成	○　達成	○　達成				

年度評価

R3

- 0501 自殺対策ネットワーク構成団体、医師会医療機関等の支援機関及び骨粗しょう症事後教室等の健康教室で周知を実施した。来年度以降もあらゆる機会を通して周知を実施していく。
- 0502 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、自殺対策ネットワーク会議は中止となった。しかし、メール等を通じて自殺対策の情報や自殺対策研修について周知し、情報共有を図った。職員を対象とした自殺対策研修、ゲートキーパー養成研修については来年度以降も実施していく。
- 0503 こころの体温計だけでなく、メルマガを通じてこころの支援窓口等の周知を図った。また、こころの体温計にリンクを貼り、こころの相談窓口、メンタル相談、ゲートキーパー養成研修等の周知を図った。
- 0504 定例のメンタル相談の実施回数は10回であった。しかし、メンタル相談を実施していることで市民や支援機関からの問い合わせや相談があり、電話や来所等に対して応対した。

R4

- 0501 保健委員・民生委員や市役所管理職へのメンタルヘルスについての講座や市民・市役所新規採用職員対象のゲートキーパー研修を実施した。今後も健康の社会的決定要因を考慮し、日程調整をしながら研修を実施していく。
- 0502 コロナ禍により会議の開催ができなかったが、自殺対策計画進捗シートを活用し、庁内各部署から回答を得て状況把握に努めた。コロナ禍で得た啓発方法（ＳＮＳ、ZOOM等）を参考に会議と同等の手法を検討したい。
- 0503 チラシや伊東市ホームページを活用し積極的にPRに努めたが、アクセス数の目標値まで達成できなかった。次年度は、伊東市メールマガジン等のSNSも活用し、若い世代にも理解や利用が得られるようPRの強化を図りたい。
- 0504 伊東市メールマガジンを活用し、メンタル相談で相談できる内容の一部を具体的に「季節による不調」や「それぞれの年齢での悩み」なども相談できる旨掲載したところ、すぐに定員に達しキャンセル待ちや他の相談機関を紹介することもあった。

R5

- 0501 保健委員や市役所管理職へのメンタルヘルス講座、市民や市役所の新規採用職員などを対象としたゲートキーパー研修などを実施した。関係部署との連携、協力、理解が必要となるので、引き続き研修等の機会を検討する。
- 0502 自殺対策計画進捗シートを活用し、庁内各部署から回答を得て状況把握に努めた。令和6年度より第2次伊東市いのち支える自殺対策計画が施行されることから、取組内容の強化を図っていく。
- 0503 各種研修会等でのPRやチラシ・クリアホルダー・伊東市ホームページを活用したPRに努めたため、前年度よりアクセス数が微増した。今後もセルフチェックの普及啓発に努めていく。
- 0504 メンタル相談が市役所他部署においても定着しつつあり、紹介も増加している。相談後のつなぎ先についても連携の強化が必要である。

中間評価

0501

（達成状況）**C**

（実績評価）・コロナ禍で対面での健康教育や相談の場が減り、情報提供の機会が増えていない。メンタルヘルスについての市民の関心は強くなっていることから内容を充実させ、あらゆる場面でのPRが必要である。

（今後の対応）・スタッフの育成を図り、あらゆる分野でのPRや相談に応じられる体制を強化する。

0502

（達成状況）**C**

（実績評価）・コロナ禍でネットワーク会議が開催できていないため、早急に再開できるよう基盤整備を図る。ゲートキーパー研修は、市民や市役所新規採用職員への実施は定着してきている。今後、職域等への知識の普及を図る。

（今後の対応）・ネットワーク会議を開催し、スタッフ間の連携の強化を図る。
・ゲートキーパー研修をいろいろな場で実施できるよう、効果的なPRやスタッフの育成を図る。

0503

（達成状況）**D**

（実績評価）・こころの体温計を導入して10年が経過していることから、PRはしているものの利用者は減少してきている。内容のリニューアルについて検討する必要がある。

（今後の対応）・引き続き、効果的なPRを図る。
・「こころの体温計」事業の管理運営を委託している業者と内容等について検討していく。

0504

（達成状況）**B**

（実績評価）・メンタル相談が定着してきており、紹介が増加している。またSNS等でのPRにより市民も気軽に相談できる場として機能しつつある。

（今後の対応）・引き続き、広報PRを強化し、より多くの人が利用できるようにしていく。また、相談後に適切な「つなぎ」ができるよう連携の強化を図る。

06　感染症対策の推進

達成状況						
指標数	4	4	4	4	4	
達成数	0	0	1	0	0	
達成率	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	

	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0601	感染症に関する正しい知識の普及	講習会開催数	R1 4回	目標値	10	10	10	10	10	回以上	健康推進課
				実績値	5	5	5				
				評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
0602	予防接種の実施及び検診体制の整備	定期予防接種の接種率	R1 97.4%	目標値	100	100	100	100	100	%	健康推進課
				実績値	99.6	85.9	88.5				
				評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
0603	感染症を予防する生活習慣づくり	肺がん・肺結核検診受診率	H30 11.4%	目標値	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	%以上	健康推進課
				実績値	31.9	R7.2公表	R8.2公表				
				評　価	× 未達成						
0604	災害時の感染症予防について関係医療機関との連携強化	災害時医療救護等対策連絡会の実施	R1 2回	目標値	2	2	2	2	2	回以上	健康推進課
				実績値	0	1	2				
				評　価	× 未達成	× 未達成	○ 達成				

年度評価

R3

0601 保健委員の全員研修会で実施。後半の研修が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になり10回実施予定が5回になった。

0602 接種時期の紹介などの接種勧奨を実施し、全体の接種率としては、１００％に近づいているが、種類ごとにみると８０％前後に留まっている予防接種もあり、目標達成には至らなかった。

0603 推計対象者数8,585人受診者2,741人　R2はコロナ禍で受診者が減ったが、R3は少しずつではあるが受診者は増加している。さらに感染対策を強化し、受診勧奨を図る。

0604 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

R4

0601 保健委員の研修会で感染予防の研修を実施。特に手洗いの重要性をPRするために手洗いチェッカーを用いて、保健委員が自ら「正しい手洗い方法」についての研修を行ったが未達成であった。今後、福祉施設等から講習会開催の依頼があった際には、健康の社会的決定要因に考慮しながら開催方法を検討していく。

0602 令和４年度から積極的勧奨を再開し、統計対象となった子宮頸がんワクチンの接種率（14.1%）が全体接種率の減少に影響している。引き続き国の推奨体制等に沿って周知を図りたい。

0603 令和７年２月公表予定

0604 新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大に伴い、令和３年度と同様に中止した。今後、新型コロナウイルスによる制限が緩和された中で、健康の社会的決定要因を考慮しながら開催していき、関係医療機関との連携強化に努める。

R5

0601 目標値には届かなかったが、保健委員対象に感染症に関する支部研修を５回実施したほか、担当保健師からは日常的に事業を実施する中で感染症対策に関する周知啓発活動を行った。

0602 令和４年度から積極的勧奨を再開し、統計対象となった子宮頸がんワクチンの接種率（12.9%）が全体接種率の低下に影響している。引き続き国の推奨体制等に沿って周知を図りたい。

0603 令和8年２月公表予定

0604 年２回開催し、目標に達した。今後は、連絡会を通じ感染症予防を鑑みた訓練内容の検討や資機材の購入について関係医療機関と連携を図っていく。

中間評価

0601（達成状況） **D**

（実績評価）・コロナ禍であり研修会の実施は制限されたが、知識の普及は進んだと思われる。

（今後の対応）・引き続き、新型コロナウイルス等の新興感染症対策にあわせて、罹患率の高い結核対策も勧めていく。

0602（達成状況） **D**

（実績評価）・子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種が取り入れられたが接種率が上がらなかったことから、全体実施率が低下した。他の予防接種率も８０％台である。

（今後の対応）・令和6年度より新型コロナウイルスの予防接種が定期接種となることから、接種勧奨を強化する。

0603（達成状況） **—**

（実績評価）令和8年２月公表予定

（今後の対応）

0604（達成状況） **B**

（実績評価）・新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため中止としたが、令和５年度は年２回開催し、目標を達成している。

（今後の対応）・年２回の開催を継続し、感染症予防を鑑みた訓練内容の検討や資機材の購入について関係医療機関と連携を図っていく。

担当課		子育て支援課
政策目標	2	誰もが健やかに暮らし活躍できるまち
施策分野	3	出産・子育て支援の充実
目指す姿		子育て世代が安心して出産ができ、心身共に健やかに子育てができる
		子どもが心身ともに健やかに成長できる

施策２－３の全指標達成率					
年度	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	16	16	16	16	16
達成数	7	9	12	0	0
達成率	43.8%	56.3%	75.0%	0.0%	0.0%

1　成果指標（ＫＰＩ）

指標数	2	2	2	2	2		
達成数	1	1	1	0	0		
達成率	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		

成果指標1	子育てを楽しいと思う親の割合（乳幼児健康診査アンケート）	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値	91.0	92.0	93.0	94.0	95.0	%	子育て支援課
		90.5%	実績値	93.9	94.2	94.3			以上	
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
目標値の考え方	子育てを楽しいと思う親の割合のうち、10か月児健診アンケートのみでの直近３年間が92%前後で推移していることから、10か月児、１歳６か月児、３歳児健診の３つのアンケートで集計した場合の基準値90.5%を踏まえ、各年度１%程度上昇することを見込んで目標値を95%とした。									

成果指標2	「出産・子育て支援の充実」に満足している市民の割合（市民満足度調査）	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R2	目標値	63.5	65.0	66.5	68.0	70.0	%	子育て支援課
		62.0%	実績値	55.1	53.0	57.1			以上	
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				
目標値の考え方	基準値である令和２年度の結果をもとに、各年度1.5%程度上昇することを見込んで目標値を70%とした。									

R3年度	1（実績評価）	・妊娠期からの切れ目ない充実したサポート体制により、目標を達成できた。
	（次年度修正点）	・産前、産後サポート等新たな事業も追加して展開していくため、更なる充実を図る。
	2（実績評価）	・新型コロナウイルス感染症拡大による各種事業の開催中止や規模縮小の影響等により、市民満足度の目標値を達成できなかった。
	（次年度修正点）	・新型コロナウイルス感染症対策を行い、各種事業を通常通り開催することなどにより、出産・子育て支援の充実を図る。
R4年度	1（実績評価）	・妊娠期からの切れ目ない支援体制の充実により、子育て期に子育てを楽しく思う親の割合の目標を達成することができた。
	（次年度修正点）	・伴走型支援の充実や産後ケア、産前産後サポートの新規事業の展開により更なる充実を図る。
	2（実績評価）	・新型コロナウイルス感染症拡大による各種事業の開催中止や規模縮小の影響等により、市民満足度の目標値を達成できなかった。
	（次年度修正点）	・出産・子育て支援に関する情報を市民に対して適切かつ迅速に発信し、各種事業を円滑に実施することにより、出産・子育て支援の充実を図る。
R5年度	1（実績評価）	・妊娠期からの切れ目のない支援体制の充実により、子育て期に子育てを楽しいと思う親の割合の目標値を達成することができた。
	（次年度修正点）	・現在、実施している事業の見直しにより、子育て世帯が子育てを楽しいと感じられるよう、支援の充実を図る。
	2（実績評価）	・目標値を達成できなかったが、新型コロナウイルス感染症が第５類になり、各種事業を通常通り開催することができたことにより、満足度は過去３年間で最も高い数値となった。
	（次年度修正点）	・出産・子育て支援に関する情報について、各種媒体により市民への発信力を高め、各種事業を円滑に実施することにより、出産・子育て支援の充実を図り、市民満足度を高めていきたい。

中間評価	1（達成状況）	**B+**
	（実績評価）	・毎年度の目標値は達成しており、実績値も伸びてきている。
	（今後の対応）	・妊娠、出産、子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ支援体制の充実により子育てが楽しいと感じる親の割合を増やしていく。
	2（達成状況）	**D**
	（実績評価）	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大による各種事業の開催中止や規模縮小の影響等により、市民満足度は一貫して低い数値となっており、目標値を達成できなかった。
	（今後の対応）	・出産・子育て支援に関する情報について、SNSやポスター、横断幕等の各種媒体により市民への発信力を高め、各種事業を円滑に実施することにより、出産・子育て支援の充実を図り、市民満足度を高めていきたい。

2　基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）								※ 基本的な取組・主な内容の達成状況
		指標数	14	14	14	14	14	
		達成数	6	8	11	0	0	
		達成率	42.9%	57.1%	78.6%	0.0%	0.0%	
01　子育て世帯の経済的支援の推進	達成状況	指標数	5	5	5	5	5	
		達成数	2	2	3	0	0	
		達成率	40.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0101 誕生祝金の贈呈	出生数（暦年）	R2 242件	目標値	230	235	240	245	250	件以上	子育て支援課
			実績値	208	215	212				
			評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
0102 子育て支援医療費助成	制度周知の回数	R2 1回	目標値	2	3	3	3	3	回以上	子育て支援課
			実績値	2	3	3				
			評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
0103 妊産婦健診助成	妊婦健診助成件数 ※5	R1 271件	目標値	260	265	—	—	—	件以上	子育て支援課
			実績値	235	240	—	—	—		
			評　価	× 未達成	× 未達成	—	—	—		
	産婦健診助成件数 ※5	R1 257件	目標値	250	255	—	—	—	件以上	子育て支援課
			実績値	223	205	—	—	—		
			評　価	× 未達成	× 未達成	—	—	—		
0104 不妊治療費助成	延べ支給人数	R1 81人	目標値	85	85	85	85	85	人以上	子育て支援課
			実績値	88	106	56				
			評　価	○ 達成	○ 達成	× 未達成				
0105 妊産婦健診助成	妊婦健診助成率 ※5	R4 100%	目標値	—	—	100	100	100	%以上	子育て支援課
			実績値	—	—	100				
			評　価	—	—	○ 達成				
	産婦健診助成率 ※5	R4 100%	目標値	—	—	100	100	100	%以上	子育て支援課
			実績値	—	—	100				
			評　価	—	—	○ 達成				

年度評価

R3

- 0101 出生数の減少により目標を達成できなかった。出産・子育て支援制度を充実させ、子育て世代が安心して出産・子育てできる環境を整えていきたい。
- 0102 2回の周知完了により、目標を達成できた。
- 0103 妊婦健診の助成は100%であるが産婦健診が100%になっていないため周知や受診勧奨等を充実していきたい。
- 0104 充分な周知により、不妊治療費助成利用の目標値を達成できた。今後も周知や相談しやすい体制づくりに努めたい。

R4

- 0101 目標値は達成できなかったが出生数は昨年度より増加した。今後も出産・子育て支援制度を充実させ、子育て世代が安心して出産・子育てできる環境を整えていきたい。
- 0102 3回の周知完了により目標を達成できた。今後も制度の周知に努めたい。
- 0103 妊婦健診及び産婦健診の助成率は１００%であったが、目標は達成できなかった。出生数は令和元年と比較すると減少傾向であり、今後も増加する見込みがないため、管理指標を見直し、管理指標０１０５を新設した。
- 0104 新制度の開始により、旧制度適応の申請者が増え全体として申請者数が増加した。今後も周知や相談しやすい体制づくりに努めたい。
- 0105 引き続き、医療機関及び妊産婦に周知するとともに、新たに妊娠8ヶ月アンケートを利用した周知方法を検討していく。

R5

- 0101 出生数の減少により目標を達成できなかった。出産・子育て支援制度の充実、制度の周知に努めて、子育て世代の出産・子育てを支援していきたい。
- 0102 3回の周知完了により目標を達成できた。今後も制度の周知に努めたい。
- 0104 令和4年度から保険適用になり１年が経過し、旧制度の申請者は０で申請者数としては減少した。今後も周知や相談しやすい体制づくりに努めたい。
- 0105 妊娠届を提出した全ての妊産婦に対し、健診の助成ができている。引き続き、あらゆる方法で周知し漏れのないようにしていく。

中間評価

0101（達成状況） **D**

（実績評価）・令和3年度と比べ令和4、5年度の実績値は増加しているが、出生数が減少傾向にあるため、いずれも目標値に達していない。

（今後の対応）・出産・子育て支援制度の充実、制度の周知に努めて、子育て世代の出産・子育てを支援していく。

0102（達成状況） **A**

（実績評価）・十分な周知を行うことができた。

（今後の対応）・制度の周知を十分に行い、引き続き、子育て世帯の経済的支援を推進していく。

0104（達成状況） **C**

（実績評価）・令和3、4年度は目標値を上回っている。令和5年度は申請者数が減り、目標値に到達はしていないものの、令和4年度の制度改正については、市民からの評価が高い。

（今後の対応）・周知の充実により、申請希望者が漏れなく申請できるようにしていく。

0105（達成状況） **B**

（実績評価）・全ての妊産婦に対し、健診の助成ができており、目標は達成できている。

（今後の対応）・必要な健診を全て受診できるように周知していく。

※5　出生数が減少傾向にあるため、管理指標0103を見直し、管理指標0105を新設した。

02	妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援の推進	達成状況	指標数	4	4	4	4	4		
			達成数	2	3	4	0	0		
			達成率	50.0%	75.0%	100.0%	0.0%	0.0%		

	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0201	総合的相談窓口の設置及び産前・産後の専門的支援の充実化	子育て世代包括支援センター、妊娠・出産包括支援事業の利用者数	R1 1,778人	目標値	1,820	1,840	1,860	1,880	1,900	人 以上	子育て支援課
				実績値	2,024	2,324	2,104				
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0202	発達面で支援が必要な子どもとその保護者等に対する療育環境及び相談支援	さくらんぼ教室、ポニーの教室、リトルキッズの開催回数	R1 36回	目標値	36	36	36	36	36	回 以上	子育て支援課
				実績値	20	36	36				
				評　価	×　未達成	○　達成	○　達成				
0203	保護者のネットワークづくりの推進	母親交流事業、海カフェ、多胎児ピアサポート事業の開催回数	R1 48回	目標値	50	52	52	52	52	回 以上	子育て支援課
				実績値	28	51	93				
				評　価	×　未達成	×　未達成	○　達成				
0204	子育て支援に関する情報発信の充実	メルマガ、アプリ等による情報発信回数	R2 7回	目標値	12	12	12	12	12	回 以上	子育て支援課
				実績値	16	12	13				
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成				

年度評価

R3

0201 各事業の充実により目標を達成できた。今後も相談しやすい体制づくりに努めていきたい。

0202 新型コロナウイルス感染症拡大による開催中止の影響等により目標を達成できなかった。感染対策に配慮しながら実施できるよう努めていきたい。

0203 新型コロナウイルス感染症拡大による開催中止の影響等により目標を達成できなかった。感染対策に配慮しながら実施できるよう努めていきたい。

0204 メルマガやアプリを利用して、定期的に周知することができた。今後も情報発信を定期的に実施する。

R4

0201 各事業の充実により継続して目標を達成できている。今後も相談しやすい体制づくりに努めていきたい。

0202 新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら事業を通常通り再開したため、目標を達成することができた。

0203 事業の拡充により、目標を概ね達成できた。今後も継続して、保護者同士のネットワークづくりを支援していきたい。

0204 メルマガを利用して定期的に周知することができた。今後も情報発信を定期的に実施する。

R5

0201 令和5年度より、伴走型相談支援の体制の整備を行い、更なる充実が図られ目標を達成できた。今後も相談支援体制の充実に努めていきたい。

0202 新型コロナウイルス感染症が第５類になり、通常通り開催することができたため、目標を達成することができた。

0203 事業の拡充により、目標を概ね達成できた。今後も継続して、保護者同士のネットワークづくりを支援していきたい。

0204 メルマガや子育て支援アプリを利用して定期的に周知することができた。今後も情報発信を定期的に実施する。

中間評価

0201（達成状況） **A**

（実績評価）・３年間とも目標値を上回っている。妊娠期からのきめ細かい支援体制の充実により目標を達成できている。

（今後の対応）・今後も妊娠期からの切れ目のない支援の充実を図っていきたい。

0202（達成状況） **B**

（実績評価）・令和3年度はコロナウイルス感染症拡大防止の影響もあり、中止になった時期もあるが、令和4、5年度は感染症拡大に注意しながら実施することができた。

（今後の対応）・今後も対象者のニーズに合わせた療育環境や相談支援の充実により目標達成に努めていく。

0203（達成状況） **B+**

（実績評価）・保護者のネットワークづくりの場として属性にあった事業を提供し、目標を概ね達成できた。

（今後の対応）・子育て中の保護者のニーズにあった場を提供できるように、ネットワークづくりの更なる充実を図っていく。

0204（達成状況） **A**

（実績評価）・各年度とも、定期的な周知を実施し、申請漏れや利用漏れが少なくなるように努めた。

（今後の対応）・定期的な周知以外にも、イベントの開催や新制度の紹介等の情報提供も実施する。

03　ひとり親家庭の自立促進

達成状況		R3	R4	R5	R6	R7
	指標数	2	2	2	2	2
	達成数	2	1	2	0	0
	達成率	100.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%

	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0301	自立支援教育訓練及び職業訓練促進給付等の就業支援	訓練修了者割合＝自立支援教育訓練及び高等職業訓練促進給付費に係る支給者数／（支給者数＋受給資格喪失者数）	R1 100%	目標値	100	100	100	100	100	%	子育て支援課
				実績値	100	100	100				
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0302	子育てや生活に係る相談支援体制の強化	相談者における就職割合＝就職者数／相談実人数（年度末時点）	R1 55%	目標値	53.0	54.0	55.0	56.0	57.0	% 以上	子育て支援課
				実績値	66.6	50.0	85.7				
				評　価	○　達成	×　未達成	○　達成				

年度評価

R3	0301　申請者全員が訓練を修了し、目標値を達成できた。
	0302　就職者数は目標値を達成しているが、新型コロナウイルス感染症の影響で求人が少なかったこともあり、相談があったもののより良い条件の就職に結びつけることができず現状維持の案件があった。
R4	0301　申請者全員が訓練を修了し、目標値を達成できた。
	0302　新型コロナウイルス感染症の影響等により求人が少なかったこともあり、良い条件の就職に結びつけることができず目標未達成となった。今後はハローワークとの連携を更に密にするとともに、相談者に対しきめ細かなサポートを行い、自立に向けた支援をしていく。
R5	0301　申請者全員が訓練を修了し、目標値を達成できた。
	0302　コロナ禍が明け、求人活動の活発化と出張ハローワーク等のイベント効果もあり、目標値を達成することができた。今後もハローワークとの連携を密にするとともに、相談者へのきめ細かなサポートを継続していく。

中間評価

0301（達成状況）	A
（実績評価）	・毎年度目標達成できている。
（今後の対応）	・今後もさらに制度周知に努め、申請者増につなげていく。
0302（達成状況）	B+
（実績評価）	・令和3、4年度はコロナ禍で求人数が少なく、実績が伸び悩んだが、令和5年度は求人数の増加等により大きく目標値を上回ることができた。
（今後の対応）	・今後もハローワークとの連携を密にするとともに、相談者へのきめ細かなサポートと制度周知に努める。

04　子どもが安心して暮らせる環境づくりの推進

達成状況		R3	R4	R5	R6	R7
	指標数	3	3	3	3	3
	達成数	0	2	2	0	0
	達成率	0.0%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%

	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0401	地域での子どもの見守り活動を行うとともに子どもの居場所づくりの推進	児童館年間利用者割合＝利用者数実績／住民基本台帳人口（3月末時点）	R1 19.9%	目標値	17.0	20.5	22.0	23.5	25.0	% 以上	子育て支援課
				実績値	12.6	11.1	14.3				
				評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				
		子ども食堂実施箇所数	R2 6箇所	目標値	6	7	8	9	10	箇所 以上	子育て支援課
				実績値	5	7	9				
				評　価	×　未達成	○　達成	○　達成				
0402	児童虐待の早期発見及び早期対応並びに未然防止のための関係機関との連携強化	個別ケース検討会議の開催回数	R1 30回	目標値	30	32	34	36	38	回 以上	子育て支援課
				実績値	20	37	34				
				評　価	×　未達成	○　達成	○　達成				

年度評価

R3	0401　新型コロナウイルス感染症拡大による影響等により目標を達成できなかった。感染症対策を行い、児童館の利用者数、子ども食堂の実施箇所数の増加に取り組みたい。
	0402　個別ケース検討会議の回数は目標値を下回った。R4からは児童相談所の大幅な人員増により、通告前ケースであっても児相職員がケース会議に参加できるようになったので、今後は積極的にケース会議を開催し、専門家を招致することで、児童虐待の早期解決を図りたい。
R4	0401　新型コロナウイルス感染症による影響が尾を引き、目標を一部達成できなかった。生活様式の変更に応じて柔軟に対応し、児童館の利用者数、子ども食堂の実施箇所数の増加に取り組みたい。
	0402　積極的なケース会議の開催により、児童虐待の早期解決及び関係機関との連携強化を図った。児童相談所の体制強化により、令和4年度から未通告ケースについても児相職員がケース会議に参加できるようになったことも積極開催の一助となった。
R5	0401　新型コロナウイルス感染症が第５類になり、コロナ禍以前の状況に戻りつつあるが、目標値を一部達成できなかった。コロナ禍による生活様式の変更に応じて柔軟に対応し、子どもの居場所づくりの推進に取り組みたい。
	0402　積極的なケース会議の開催により、児童虐待の早期解決及び関係機関との連携強化を図った。要保護児童対策地域協議会実務者会議終了後にケース会議を開催する等、関係機関が参集しやすい工夫を講じた。

中間評価

0401（達成状況）	C
（実績評価）	・令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で目標達成できなかった。令和4年度以降は児童館の利用者数は伸び悩んだが、子ども食堂は目標どおりの活動ができた。
（今後の対応）	・子どもの居場所として質の向上を図るとともに、利用者の声を聴き、施設の充実等を図り、子どもの居場所づくりを推進していく。
0402（達成状況）	B
（実績評価）	・積極的なケース会議の開催により、児童虐待の早期解決及び関係機関との連携強化を図った。
（今後の対応）	・年度ごとの目標値を達成できるよう、積極的なケース会議実施の機運を一層高め、かつ実施に当たっては関係機関が参集しやすいよう引き続き配慮する。

担当課		幼児教育課	施策２－４の全指標達成率					
政策目標	2	誰もが健やかに暮らし活躍できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	4	保育及び幼児教育の充実	指標数	14	14	14	14	14
目指す姿		子どもたちが健やかに成長することができる	達成数	9	8	9	0	0
		子育て世代が子育てと仕事が両立できる	達成率	64.3%	57.1%	64.3%	0.0%	0.0%

1　成果指標（ＫＰＩ）

	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	3	3	3	3	3
達成数	1	0	1	0	0
達成率	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%

成果指標1　待機児童数＜4月1日時点＞

基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
R2	目標値	2	0	0	0	0	人	幼児教育課
5人	実績値	1	1	0			以下	
	評　価	○　達成	×　未達成	○　達成				

目標値の考え方：待機児童数は、令和元年度11人、令和2年度5人と減少傾向にあること、また、保育所入所申込数が、令和２年度から令和３年度にかけて減少傾向にあり、少子化の進行も見据えて、令和４年度に目標達成を見込んだ。

成果指標2　園での保育に満足している保護者の割合（保育園・幼稚園評価ｱﾝｹｰﾄ）

基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
R1	目標値	99	99	99	99	100	%	幼児教育課
99%	実績値	97.4	96.6	96.2			以上	
	評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				

目標値の考え方：保育園保護者アンケートに基づき、園での保育に満足している保護者の割合は、令和元年度が97%、令和2年度が98%であり、安心して子どもを預けることができる園運営が概ねとれていることを考慮し、上昇率を横ばいとした。また、幼稚園保護者アンケートでは令和元年度99%であるため100%を目標とした。

成果指標3　多様な保育への満足度（保育園・幼稚園評価ｱﾝｹｰﾄ）

基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
R1	目標値	87	89	91	93	95	%	幼児教育課
86%	実績値	84.2	87.1	76.5			以上	
	評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				

目標値の考え方：保育園保護者アンケートに基づき、多様な保育への満足度は、令和元年度が86%、令和2年度が87%であり、事業によっては保育体制の見直し等を図り、多様化する子育て世帯のニーズに応じた保育サービスの向上を目指すことを考慮し、上昇率を2%とした。

R３年度

1（実績評価）・保育士不足の要因により、待機児童が１人発生した。
（次年度修正点）・特別な支援が必要な児童（障害児・医療的ケア児）が増えていることから、受入れ可能な施設の確保が難しい課題があり、課題改善に努める。

2（実績評価）・幼稚園・保育園で実施した保護者アンケート結果の平均値（幼稚園99.2%・保育園95.5%）
（次年度修正点）・園で実施している職員研修の充実を図る、職員の自己評価の方法を見直すなど、保育の質の向上に努めたい。

3（実績評価）・保育園保護者アンケートに基づき、多様な保育への満足度は84.2%であった。
（次年度修正点）・就労形態の多様化により、多様な保育のニーズが高まる中で、延長保育の実施がない公立園で開所時間の延長を検討するなど、保育サービスの向上を図る。

R４年度

1（実績評価）・手厚い支援が必要な児童（医療的ケア児）の受入れが困難であることから、待機児童が１人発生した。
（次年度修正点）・手厚い支援が必要な児童の受入れ施設の確保が課題となっているため課題改善に努めるとともに、保護者への適切な情報提供の体制強化に努める。

2（実績評価）・幼稚園・保育園で実施した保護者アンケート結果の平均値（幼稚園98.2%・保育園94.9%）
（次年度修正点）・園で実施している職員研修の充実を図る、職員の自己評価の方法を見直すなど、保育の質の向上に努めたい。

3（実績評価）・保護者アンケートに基づき、多様な保育への満足度は87.1%であった。園ごとの評価においては、民間園では多様な保育サービスの実施が充実しており、高い満足度を得ている。
（次年度修正点）・就労形態の多様化により、多様な保育のニーズが高まる中で、延長保育の実施がない公立園で開所時間の延長を検討するなど、保育サービスの向上を図る。

R５年度

1（実績評価）・待機児童は０人だった。
（次年度修正点）・医療的ケア児の受入れガイドラインを作成し、医療的ケア児のスムーズな受入れが出来るように努める。

2（実績評価）・幼稚園・保育園で実施した保護者アンケート結果の平均値（幼稚園99.0%・保育園93.3%）
（次年度修正点）・園で実施している職員研修の充実を図る、職員の自己評価の方法を見直すなど、保育の質の向上に努めたい。新たに導入したICTにより、保護者ニーズに対応して活用していきたい。

3（実績評価）・保護者アンケートに基づき、多様な保育への満足度は76.5%であった。園ごとの評価においては、広野・富士見・八幡野では病児保育が未実施のため、満足度が10%前後減少したことが影響している。
（次年度修正点）・就労形態の多様化により、多様な保育のニーズが高まる中で、延長保育未実施の公立園での開所時間延長の検討や病児保育未実施の公立園での実施体制の計画など、保育サービスの向上を図る。

中間評価

1（達成状況）**B+**
（実績評価）・保育士不足や医療的ケア児の受入れが困難なため、R3.・R4は待機児童がいたが、R5においては、待機児童が0人であった。
（今後の対応）・医療的ケア児の受入れガイドラインを作成し、医療的ケア児のスムーズな受入れが出来るように努める。

2（達成状況）**B−**
（実績評価）・幼稚園・保育園で実施した保護者アンケート結果の３年間の平均値（幼稚園98.8%・保育園94.4%）
（今後の対応）・今までの園内での取組に加えて、ICTを利用した活用により、保護者のニーズに応えて目標となる満足度を達成したい。

3（達成状況）**D**
（実績評価）・保護者アンケートに基づき、多様な保育への満足度の３年間の平均値　82.6%
（今後の対応）・就労形態の多様化により、多様な保育のニーズが高まる中で、延長保育未実施の公立園での開所時間延長の検討や病児保育未実施の公立園での実施体制の計画など、保育サービスの向上を図る。

2　基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）								※ 基本的な取組・主な内容の達成状況
		指標数	11	11	11	11	11	
		達成数	8	8	8	0	0	
		達成率	72.7%	72.7%	72.7%	0.0%	0.0%	
01　待機児童対策の推進	達成状況	指標数	2	2	2	2	2	
		達成数	1	1	1	0	0	
		達成率	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0101　保育環境の整備	施設の整備数	R2	目標値	0	0	0	0	1	園	幼児教育課
		0園	実績値	1	0	0				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成			以上	
0102　幼稚園預かり保育の運営	1園当たりの預かり保育利用者数	R1	目標値	12	13	12	10	10	人	幼児教育課
		11.2人	実績値	9.3	8.7	11.9				
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成			以上	

年度評価		
R3	0101	令和３年度に、民営保育所１園を認定こども園として開所した。また、公立園においては、子ども・子育て会議の中で再編に向けて協議し、環境整備の準備を進めた。今後の整備計画を見据える上で、令和７年度開所を目指すことからR4以降の目標値を変更した。
	0102	新型コロナウイルス感染症拡大に伴うまん延防止措置等による利用者を制限したことが影響し、目標値を下回った。令和４年度は預かり保育内容を充実するなどして利用者増に努める。
R4	0101	待機児童対策は解消に向かう中で、受け皿確保としての施設整備は予定していないが、公立保育園での認定こども園設置に向けた準備として主に候補地の選定に係る協議を行った。また、耐震性能が劣る園舎の安全対策についての検討を行った。
	0102	新型コロナウィルス感染症拡大に伴うまん延防止措置等により利用者を制限したことが影響し、目標値を下回った。令和５年度は新型コロナウイルス感染症の５類移行に伴い、預かり保育内容を充実するなどして利用者増に努める。
R5	0101	公立こども園設置に向け、再編対象となる園と設置候補地の検討を行い、設置諮問機関である幼児施設連絡調整協議会を令和６年度に組織するための準備を進めた。
	0102	少子化が進む中で毎年園児が減少し、目標には届かなかった。来年度も園児数が減少するが、預かり保育内容の充実と保護者への周知を行っていくことで利用者増に努め、目標値の達成を目指していく。

中間評価		
0101（達成状況）	A	
（実績評価）	・公立こども園の整備については、令和３年度の子ども・子育て会議での審議を踏まえ、令和４年度に基本方針として策定されたものである。この方針の下、目指す公立こども園像等を検討するワーキンググループを立ち上げるとともに、施設設置に向けた諮問機関への諮問の準備も進めており、目標実現に向け着実な進展が見られた。	
（今後の対応）	・少子化が進む中でも０歳児保育に対するニーズは年々高まっていることから、新たに設置するこども園では０歳児保育を実施することで市内全体の待機児童対策につなげていく。	
0102（達成状況）	B−	
（実績評価）	・令和3、4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で参考外とする。令和5年度は、毎年の園児減少にも関わらず、実績値で１１人を超えた値は保護者ニーズが高いことを示しており、今後も預かり保育の充実に努めて、目標値に近づけていきたい。	
（今後の対応）	・ICT活用による園内業務の改善と保護者ニーズに応えることで、園児数は減少するが利用者を確保していきたい。	

02　多様な保育事業の推進

達成状況						
指標数	3	3	3	3	3	
達成数	2	3	2	0	0	
達成率	66.7%	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0201　延長保育	実施園数	R2	目標値	9	9	10	13	13	園	幼児教育課
		9園	実績値	9	9	9			以上	
			評　価	○　達成	○　達成	×　未達成				
0202　一時預かり	実施園数	R2	目標値	5	3	3	3	3	園	幼児教育課
		5園	実績値	3	3	3			以上	
			評　価	×　未達成	○　達成	○　達成				
0203　病児保育	実施園数	R2	目標値	7	8	8	8	8	園	幼児教育課
		7園	実績値	8	8	8			以上	
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				

年度評価

R3

- 0201　就労形態の多様化に伴い、保育時間を延長して児童を預けられる環境が必要とされている中で、民間保育園９園（小規模保育所含む）で実施し、保育の確保に努めた。
- 0202　保育所等を利用していない家庭の保育ニーズ（就労・育児疲れ等）に対応するため、公立保育園１園、民間保育園２園で実施した。少子化に伴い待機児童数や保育需要が減少傾向にあることから、R4以降の目標値を変更した。
- 0203　児童が保育中に体調不良となった場合の保育ニーズに対応するため、８園（公立２園、民間６園）で病児保育（体調不良児型）を実施した。緊急的な対応を図った保育需要の高まりから、当初の見込みを上回るため、R4以降の目標値を変更した。

R4

- 0201　就労形態の多様化に伴い、保育時間を延長して児童を預けられる環境が必要とされている中で、民間保育園９園（小規模保育所含む）で実施し、保育の確保に努めた。
- 0202　保育所等を利用していない家庭の保育ニーズ（就労・育児疲れ等）に対応するため、公立保育園１園、民間保育園２園で実施した。少子化に伴い待機児童数や保育需要は減少傾向とみられる。
- 0203　児童が保育中に体調不良となった場合の保育ニーズに対応するため、８園（公立２園、民間６園）で病児保育（体調不良児型）を実施し、保護者が安心して子育てができる環境整備に努めた。

R5

- 0201　就労形態の多様化に伴い、保育時間を延長して児童を預けられる環境が必要とされている中で、民間保育園９園（小規模保育所含む）での実施に留まっている。
- 0202　保育所等を利用していない家庭の保育ニーズ（就労・育児疲れ等）に対応するため、公立保育園１園、民間保育園２園で実施した。少子化に伴い待機児童数や保育需要は減少傾向とみられる。
- 0203　児童が保育中に体調不良となった場合の保育ニーズに対応するため、８園（公立２園、民間６園）で病児保育（体調不良児型）を実施し、保護者が安心して子育てができる環境整備に努めた。

中間評価

0201（達成状況）**C**

（実績評価）・保育士不足により、令和３年度より延長保育の実施保育園数は増えていない。

（今後の対応）・短時間勤務のパートタイム会計年度職員を任用する等、対応する保育士を確保し、延長保育未実施の保育園においても、実施できるよう努める。

0202（達成状況）**B**

（実績評価）・保育所等を利用していない家庭の保育ニーズ（就労・育児疲れ等）に対応するため、公立保育園１園、民間保育園２園で実施した。少子化に伴い待機児童数や保育需要は減少傾向とみられ、令和4年度以降の目標値を変更した。

（今後の対応）・今後も、保育所等を利用していない家庭の保育ニーズ（就労・育児疲れ等）に留意しながら対応していく。

0203（達成状況）**A**

（実績評価）・児童が保育中に体調不良となった場合の保育ニーズに対応するため、８園（公立２園、民間６園）で病児保育（体調不良児型）を実施した。緊急的な対応を図った保育需要の高まりから、当初の見込みを上回るため、令和4年度以降の目標値を変更した。

（今後の対応）・今後も、児童が保育中に体調不良となった場合の保育ニーズに留意しながら対応していく。

03　保育及び幼児教育の充実

達成状況						
指標数	4	4	4	4	4	
達成数	3	2	3	0	0	
達成率	75.0%	50.0%	75.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0301　小学校との連携	１園当たりの小学校との交流実施回数	R1 3回	目標値	4	4	5	5	6	回以上	幼児教育課
			実績値	5.3	6.3	4.1				
			評　価	○　達成	○　達成	×　未達成				
0302　職員の質の向上	１園当たりの研修会開催数	R1 1回	目標値	2	2	3	3	3	回以上	幼児教育課
			実績値	3.3	3.4	4.3				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0303　人材確保	預かり保育サポーター登録人数	R1 5人	目標値	13	15	5	5	5	人以上	幼児教育課
			実績値	6	5	5				
			評　価	×　未達成	×　未達成	○　達成				
0304　園外及び地域活動等の体験	１園当たり実施回数	R1 2回	目標値	2	3	3	4	4	回以上	幼児教育課
			実績値	2	2	4				
			評　価	○　達成	×　未達成	○　達成				

年度評価

R3

- 0301 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い交流活動に制限がある中、同じ学区の小学生とビデオレターや写真付き手紙の交換を実施するなど、創意工夫による交流に努めた。
- 0302 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、計画していた研修の中止が続く中でも必要な研修実施に努めた。
- 0303 幼稚園での預かり保育の申込者が多い日でも受入可能とするために令和２年度に幼稚園教諭OBなどのサポーター制度を創設。処遇の改善を図るために令和３年度からは会計年度任用職員の位置付けとなったが、周知不足等により登録人数は６人に留まった。
- 0304 新型コロナウイルス感染症防止に伴い交流活動に制限がある中、次年度入園を予定する未就園児に園開放を実施したり、地域行事や地域で活躍する人を講師に招いて教室を開催するなど地域との交流に努めた。

R4

- 0301 新型コロナウイルス感染症防止に伴い交流活動に制限がある中、同じ学区の小学生とビデオレターや写真付きの手紙の交換を実施するなど、創意工夫による交流に努めた。
- 0302 新型コロナウイルス感染症防止に伴い、計画していた研修の中止が続く中でも必要な研修実施に努めた。
- 0303 幼稚園教諭OBなどのサポーター制度を創設。処遇の改善を図るために令和３年度からは会計年度任用職員の位置付けとなったが、現状で預かり保育等に対応する５名が登録しており不都合なく運営している。園児数も毎年減少しているので、目標値を修正した。
- 0304 新型コロナウイルス感染症防止に伴い、交流活動に制限がある中、次年度入園を予定する未就園児に園開放を実施したほか、地域行事や地域で活躍する人を講師に招いて教室を開催した。新型コロナウイルスによる交流活動に制限がなくなり、次年度には地域行事への参加も多くなるので、年間予定通りの実施により、目標達成を見込む。

R5

- 0301 新型コロナウイルス感染症による制限がなくなり、通常どおりに同じ学区の小学生との相互の交流が実施されたが、手紙やビデオレターでの交流が減少したため目標値を達成できなかった。
- 0302 新型コロナウイルス感染症による制限がなくなり、通常どおりに計画していた研修が実施されたため、目標値を達成した。
- 0303 幼稚園教諭OBなどのサポーター制度を創設。処遇の改善を図るために令和３年度からは会計年度任用職員の位置付けとなったが、現状で預かり保育等に対応する５名が登録し不都合なく運営しており、今後も確保に努めたい。
- 0304 新型コロナウイルス感染症による制限がなくなり、次年度入園を予定する未就園児に対し園開放を実施したほか、地域行事や地域で活躍する人との交流活動も通常どおり行われ、地域行事への参加により目標値を達成した。

中間評価

0301（達成状況）**C**

（実績評価）・令和3、4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、手紙やビデオレターなどの交流が増えた。令和5年度は目標未達成のため、目標を達成した令和3、4年度の手紙等の交流内容を再実施するようにして目標を達成していきたい。

（今後の対応）・園児数減少による影響があるので、それに対応した交流をICT活用なども含めて創意工夫して実施したい。

0302（達成状況）**A**

（実績評価）・令和3、4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、研修が制限された。令和5年度の数値が今後の基準となっていくため、目標を達成した実施内容を続けていきたい。

（今後の対応）・オンデマンド研修等もICT化で対応が可能となっているので、現地研修以外にも参加ができる体制を構築して、実施回数を確保していきたい。

0303（達成状況）**B**

（実績評価）・令和5年度は目標を達成した。令和6年度も目標を達成できる見込み。

（今後の対応）・サポーターは預かり保育には不可欠の存在となっており、目標の人数確保は必ず達成するように努めていきたい。

0304（達成状況）**B+**

（実績評価）・令和3、4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、園庭開放等が制限された。令和5年度の数値が今後の基準となっていくため、地域への交流活動を令和5年度と同じく実施していきたい。

（今後の対応）・目標は達成しているが、少子化の影響で園児数が減少するので、地域周辺の交流などをきっかけにして入園してもらえるような内容を実施したい。

04　情報提供、相談体制の充実

達成状況						
指標数	1	1	1	1	1	
達成数	1	1	1	0	0	
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0401 ニーズに対応したサービス内容の情報提供と相談体制の強化	利用者支援事業、子育て支援センター実施か所数	R2 8か所	目標値	8	8	8	8	8	か所 以上	幼児教育課
			実績値	8	8	8				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				

年度評価	
R3	0401 利用者支援事業においては、保育コンシェルジュを配置して情報提供・入所案内等に努めた。また、市内７か所の子育て支援センター（独立型２、保育園併設型５）を開所し、子育て支援活動の充実を図った。
R4	0401 利用者支援事業においては、保育コンシェルジュを配置して情報提供・入所案内等に努めた。また、市内７か所の子育て支援センター（独立型２、保育園併設型５）を開所し、子育て支援活動の充実を図った。
R5	0401 利用者支援事業においては、保育コンシェルジュを配置して情報提供・入所案内等に努めた。また、市内７か所の子育て支援センター（独立型２、保育園併設型５）を開所し、子育て支援活動の充実を図った。

中間評価	
0401（達成状況）	A
（実績評価）	・利用者支援事業においては、保育コンシェルジュを配置して情報提供・入所案内等に努めた。また、市内７か所の子育て支援センター（独立型２、保育園併設型５）を開所し、子育て支援活動の充実を図った。
（今後の対応）	・今後も、利用者支援事業においては、保育コンシェルジュを配置して情報提供・入所案内等に努め、市内７か所の子育て支援センター（独立型２、保育園併設型５）を開所し、子育て支援活動の充実を図っていきたい。

05　幼稚園及び保育園の再配置計画の策定

達成状況						
指標数	1	1	1	1	1	
達成数	1	1	1	0	0	
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0501 幼稚園及び保育園の認定こども園を見据えた再編	認定こども園整備数	R2 0園	目標値	1	0	0	0	0	園 以上	幼児教育課
			実績値	1	0	0				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				

年度評価	
R3	0501 令和３年度に、民営保育所１園を認定こども園として開所した。公立園は、子ども・子育て会議にて審議し、再編計画の策定に向けて取り組んだ。
R4	0501 公立園での認定こども園開所に向けて、令和３年度に策定した再編計画に基づき、幼保の職員で構成するワーキンググループを立ち上げ、会議を開催した。
R5	0501 公立園での認定こども園開所に向けて、令和３年度に策定した再編計画に基づき、幼保の職員で構成するワーキンググループによる会議の開催やこども園の視察を実施した。

中間評価	
0501（達成状況）	A
（実績評価）	・こども園整備数は今後も達成の見込みである。
（今後の対応）	・令和9年度もしくは令和10年度の公立認定こども園開設に向けて計画を準備していく。

担当課		高齢者福祉課
政策目標	2	誰もが健やかに暮らし活躍できるまち
施策分野	5	高齢者福祉の充実
目指す姿		高齢者が地域の中でいきいきと生活できる
		地域において住民相互で支え合い暮らすことができる

施策２－５の全指標達成率					
年度	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	21	21	21	21	21
達成数	5	6	5	0	0
達成率	23.8%	28.6%	23.8%	0.0%	0.0%

1　成果指標（ＫＰＩ）

指標数	3	3	3	3	3
達成数	0	0	0	0	0
達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

成果指標1

元気な高齢者の割合＜4月1日時点＞
（介護保険第１号被保険者のうち、要介護・要支援認定を受けていない高齢者の割合）

基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
R2 84.1%	目標値	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	% 以上	高齢者福祉課
	実績値	83.1	82.8	82.3				
	評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				

目標値の考え方：本市は、令和3年度が高齢者人口のピークと推計され、以降は高齢者の中での高齢化が進むため、一般的には要介護認定を受ける割合が増えるものであるが、介護予防の取り組みを一層推進することによりその割合を維持させる。

成果指標2

健康寿命（お達者度）

基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
H28 男性17.48年 女性20.30年	目標値	男性18.08 女性20.84	男性18.22 女性20.93	男性18.37 女性21.01	男性18.51 女性21.10	男性18.65 女性21.19	年 以上	健康推進課
	実績値	—	—	—	—	—		
	評　価	—	—	—	—	—		

成果指標2

お達者度年齢

基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
※6	目標値	—	—	—	—	—	歳 以上	健康推進課
	実績値	男性79.0 女性84.2	男性78.8 女性84.2	公表時期未定				
	評　価	—	—	—	—	—		

目標値の考え方：長く健康で自立した生活を送るため、静岡県の過去公表資料を基に推計した将来予測値を設定。今後、令和３年度以降の実績を基に、令和８年度以降の推計をしていく。

成果指標3

生活支援サポーターの養成者数
（目標値は５年間累計）

基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
R1 45人（単年）	目標値	40	40	40	40	40	人 以上	高齢者福祉課
	実績値	16	29	23				
	評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				

目標値の考え方：高齢者の日常生活を支援するボランティアである「生活支援サポーター」を養成し、地域の介護基盤の向上を図る。
生活支援サポーターは既に226人が養成されているが、高齢者数の増加に対応するために毎年40人のサポーターを養成し、地域の支え合い活動及び介護予防を支援する。

R３年度

1（実績評価）・団塊の世代の高齢化と新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外出控えや介護予防事業等の一時休止に伴い、目標値より0.9ポイントの減少となった。

（次年度修正点）・新型コロナウイルス感染症に伴う介護予防事業中止は令和４年度も見込まれるため、チラシやケーブルテレビを活用した運動機会の提供を図る等の工夫をし、コロナ禍においても平常時に近い生活を送れるよう努める。

2（実績評価）
（次年度修正点）

3（実績評価）・年度当初は養成講座を３回実施する予定だったが、３回のうち２回がまん延防止等重点措置期間に予定していたことから中止したため、目標未達成となった。

（次年度修正点）・新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮した上で、養成講座を実施できるよう努める。

R４年度

1（実績評価）・団塊の世代の高齢化に加え、コロナ禍における外出控えや交流機会の不足からくる心身の状態悪化から、目標値を下回ることとなった。

（次年度修正点）・感染状況を考慮しながら、積極的に介護予防事業を実施し、フレイル予防・重症化防止を図る。

2（実績評価）
（次年度修正点）

3（実績評価）・コロナ禍の影響などから、目標値を下回ってしまったが、予定していた講座３回を実施することができた。

（次年度修正点）・令和５年度からは、これまで養成してきたボランティアのフォローアップを行いつつ、地域での「助け合い活動」へと繋げていくために必要な、核となるグループ作りの勉強会を開催していく。

R5年度	1（実績評価）	・団塊の世代の高齢化に加え、コロナ禍における外出控えや交流機会の不足からくる心身の状態悪化から、目標値を下回ることとなった。
	（次年度修正点）	・新型コロナウイルス感染症が５類に移行したことにより、外出や交流の機会等が増えていくことから、積極的に介護予防事業を実施し、フレイル予防・重症化防止を図る。
	2（実績評価）	・
	（次年度修正点）	・
	3（実績評価）	・養成数の目標値を下回ったが、これまで養成したボランティアのフォローアップに力を入れ、地域での「助け合い活動」に繋がる周知が行えた。
	（次年度修正点）	・生活支援サポーターの養成講座を圏域単位ではなく、自治会、町内会等の小さい単位で実施し、地域での「助け合い活動」へスムーズに移行できるよう体制を整えていく。
中間評価	1（達成状況）	B−
	（実績評価）	・コロナ禍における外出控えや交流機会の不足からくる心身の状態悪化から、目標値を下回ることとなった。
	（今後の対応）	・新型コロナウイルス感染症が５類に移行したことにより、外出や交流の機会等が増えていくことから、積極的に介護予防事業を実施し、フレイル予防・重症化防止を図り、目標値の達成を目指す。
	2（達成状況）	―
	（実績評価）	・お達者度は令和５年度に公表された令和２年度実績をもって廃止となり、令和６年９月９日に公表された令和３年度実績からは、算出方法が異なるお達者年齢にて管理していくこととなった。
	（今後の対応）	・新たな成果指標としてお達者年齢を新設する。目標値は、令和３年度以降の実績を基に、令和８年度以降の推計をしていくため、「ー」とする。
	3（達成状況）	D
	（実績評価）	・目標値も大事だが、養成講座の内容について地域の課題に応じた内容で開催する必要があると思われる。
	（今後の対応）	・生活支援サポーターの養成講座を圏域単位ではなく、自治会、町内会等の小さい単位で実施し、地域での「助け合い活動」へスムーズに移行できるよう体制を整えていく。

※6 お達者度は令和５年度に公表された令和２年度実績をもって廃止となり、令和６年９月９日に公表された令和３年度実績からは、算出方法が異なるお達者年齢にて管理していくこととなったため、成果指標を変更する。令和３年度以降の実績を集計し、令和８年度以降の目標値を推計していく。

2　基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）									※ 基本的な取組・主な内容の達成状況
			指標数	18	18	18	18	18	
			達成数	5	6	5	0	0	
			達成率	27.8%	33.3%	27.8%	0.0%	0.0%	
01	健康で生きがいのある暮らしの支援	達成状況	指標数	3	3	3	3	3	
			達成数	1	1	0	0	0	
			達成率	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	

主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0101	健康福祉センター等の活用	健康福祉センターの利用者数	R1 44,984人	目標値	28,000	33,000	39,000	46,000	55,000	人以上	高齢者福祉課
				実績値	83,107	38,745	13,347				
				評　価	○　達成	○　達成	×　未達成				
0102	居場所の開催	居場所設置数	R1 46か所	目標値	60	70	80	90	100	か所以上	高齢者福祉課
				実績値	54	54	51				
				評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				
0103	高齢者の社会参加の支援	介護予防ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱの登録者数	― ※7	目標値	40	50	60	70	80	人以上	高齢者福祉課
				実績値	34	45	36				
				評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				

年度評価

R3	0101 実績値上、目標値を超えているが、健康福祉センターは新型コロナウイルス感染症ワクチン接種会場であったことから、利用者の大半はワクチン接種者であり、実質的には評価の対象とならない。
	0102 各圏域の生活支援コーディネーターが地域へ出向き、立上げ支援を行っていたが、新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、コーディネーターの活動に制限が出たことから、目標には到達しなかった。
	0103 ボランティア養成研修は当初52人の申込みがあり、目標値を上回っていたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、急きょ日程を変更したことで、研修受講者数が目標を下回った。今後は研修日程等を検討していく。
R4	0101 目標値を上回ったが、その内容は、昨年度同様新型コロナワクチン接種会場としての利用者数であることから、評価の対象とならないと考える。
	0102 目標値を下回ったものの、コロナ禍にも関わらず減少とはならなかった。令和５年度も引き続き、各圏域の生活支援コーディネーターと包括支援センターと協働し、地域での立上げ支援を行っていく。
	0103 目標値を下回ったものの、コロナ禍でもボランティア活動に関心が高いことが伺えたことから、引き続き、生活支援サポーターと協働し、地域での「助け合い活動」ボランティアとしての活動を視野に入れた取組を周知していく。
R5	0101 目標値を下回ったが、新型コロナワクチン接種会場として通年予約をし、一般利用が制限されていたため、評価の対象とならないと考える。
	0102 居場所代表者の高齢化により、継続ができず終了となる居場所があった。各圏域の生活支援コーディネーターと地域包括支援センターと協働し継続支援を行っていく。
	0103 目標値に達していないものの、ボランティア活動を自身の介護予防と捉え、楽しみながら参加される方が多かった。

中間評価

0101（達成状況）	―
（実績評価）	・新型コロナワクチン接種会場として通年予約をし、一般利用が制限されていたため、評価の対象とならないと考える。
（今後の対応）	・令和６年４月より、通常通り利用が出来るようになったため、利用の呼びかけ広報を積極的に行っていく。
0102（達成状況）	D
（実績評価）	・圏域の生活支援コーディネーターが居場所の立上げが必要な地域に出向き、居場所の役割等についての説明を行った結果、新規居場所の立上げにつながったものの、代表者の高齢化により継続ができない居場所が上回ってしまった。
（今後の対応）	・地域の課題解決の場となる居場所は、継続した関りが必要不可欠であるため、生活支援コーディネーター、地域包括支援センター職員等と協働しながら普及啓発を行っていく。
0103（達成状況）	D
（実績評価）	・感染予防のため介護施設での活動が行えず、限られた会場での活動となったため、参加の呼びかけを必要最低限にとどめたことで目標値を下回った結果となった。
（今後の対応）	・各圏域の生活支援コーディネーター等を通じて、社会参加活動が自身の介護予防となることを啓発し、地域で「介護予防」「地域づくり」等の勉強会を開催していく。

※7　令和３年度からの新たな事業であるため、基準値は－とした。

02　介護予防の推進

達成状況						
指標数	2	2	2	2	2	
達成数	0	0	0	0	0	
達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0201	訪問型・通所型サービスを活用した介護予防	サービスC利用者数（実人数）	R1 146人（単年）	目標値	170	185	200	215	230	人以上	高齢者福祉課
				実績値	122	143	146				
				評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
0202	一般介護予防教室や健康体操クラブなどを通じた介護予防	健康体操クラブ（ｽﾄﾚｯﾁ・筋ﾄﾚ）の参加者数（延人数）	R1 15,007人	目標値	15,800	16,600	17,400	18,200	19,000	人以上	高齢者福祉課
				実績値	4,849	14,806	12,630				
				評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				

年度評価

R3	0201 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、通所型サービスの利用が見込みより少なかった。委託事業所の感染予防対策がされていることや事業参加への効果について、地域包括支援センターの職員ともに対象者に対して必要性を伝えていく。
	0202 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催会場となっていたコミュニティセンターや生涯学習センター等が使用できない期間があったことから、目標値を大きく下回った。
R4	0201 感染予防対策を施し事業を実施したが、感染リスクの不安による利用控えから目標値を下回った。外出控え等により生活機能低下者の増加が見込まれるため、本事業に参加することの有益性を広く周知し今後も積極的に利用を働きかけていく。
	0202 参加者が安心して参加できるよう感染予防対策や人数制限を行って開催したが、感染リスクの不安から参加を自粛するとの声もあり目標値を下回った。コロナ禍で外出を控えたことで筋肉量の低下等が心配されるため、転倒リスクを計測する歩行解析アプリ「トルト」を活用し、一人一人に合わせた運動の提供を行い、参加を促す。
R5	0201 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う外出控え等により生活機能低下者の増加が見込まれたため、再開した通いの場等に参加する高齢者に対し、体力測定及び本事業の周知を行ったが、本事業に該当する対象者の抽出ができず目標値を下回った。
	0202 熱中症予防のため、8月は全18会場を休みにしたことで、実施回数と実績値の減少となった。

中間評価

0201（達成状況）**D**

（実績評価）	・基本チェックリストの一斉送付及び地域包括支援センターの総合相談を中心に対象者の抽出を行っているが、目標値を下回る実績となっている。しかし、本事業に参加することで参加者の80%以上が生活上の課題を解決している。
（今後の対応）	・本事業の効果を含めた周知を広く行い、どの段階の対象者へのアプローチが有効であるのか、他市町の体制も参考に検討していく。

0202（達成状況）**D**

（実績評価）	・高齢者の熱中症は重症化するリスクが高いため、近年の気温上昇に伴い安全に参加できるよう、8月は全会場実施を休止したことにより目標未達成となっている。
（今後の対応）	・休みとなる8月に向けて、事前に歩行解析アプリで測定した結果を基に、個々に合った自宅でできる自主トレーニングのメニューを6月から7月にかけて指導することで、体力の維持を図っていく。

03　住民相互で行う地域の支え合い

達成状況						
指標数	2	2	2	2	2	
達成数	1	0	0	0	0	
達成率	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0301	生活支援コーディネーターによる生活支援・介護予防の基盤整備	サービスB利用者数	R1 40人	目標値	50	60	70	80	90	人以上	高齢者福祉課
				実績値	67	57	55				
				評　価	○ 達成	× 未達成	× 未達成				
0302	高齢者を支援するボランティアの養成	生活支援サポーターの養成数	R1 45人	目標値	40	40	40	40	40	人以上	高齢者福祉課
				実績値	16	29	23				
				評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				

年度評価

R3	0301 周知が進んできており、利用者数の増加につながった。
	0302 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、予定していた講座３回のうち２回実施できず、目標を達成することができなかった。令和4年度についても、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し実施する。
R4	0301 目標値を下回ったが、総合事業の対象者の弾力化により介護認定への移行後も、ケアマネジメントを通じてサービスの利用ができるものとなったため、大幅な人数減には至らなかった。今後は介護支援事業所のケアマネジャーへの周知を積極的に行っていく。
	0302 目標値を下回ったが、予定していた講座３回を実施することができた。令和５年度からは、これまで養成してきたボランティアのフォローアップを行いつつ、地域での「助け合い活動」を行う上で核となるグループ作りの勉強会を開催していく。
R5	0301 総合事業の対象者弾力化の周知が、ケアマネジャー等に行き届いてなかったため、ケアマネ部会にて生活支援サポーターの役割について周知を行っていく。
	0302 養成数の目標値を下回ったが、これまで養成したボランティアのフォローアップに力を入れ、地域での「助け合い活動」につながる周知を行うことができた。

中間評価

0301（達成状況）**C**

（実績評価）	・コロナ禍により介護支援事業所やケアマネ部会等に出向くことができなかったことと、生活支援サポーターの役割について周知が不足していたことが要因で目標未達成となったと考える。
（今後の対応）	・総合事業の対象者弾力化の周知を、積極的に介護支援事業所やケアマネ部会等に周知を行う。（ケアマネ部会等で生活支援サポーターの役割について周知を行っていく。）

0302（達成状況）**D**

（実績評価）	・養成講座の内容について地域の課題に応じた内容で開催する必要があると考える。
（今後の対応）	・生活支援サポーターの養成講座を圏域単位ではなく、自治会、町内会等の小さい単位で実施し、地域での「助け合い活動」へスムーズに移行できるよう体制を整えていく。

04　高齢者の権利擁護

達成状況							
指標数	3	3	3	3	3		
達成数	1	2	2	0	0		
達成率	33.3%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%		

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0401 地域包括支援センターを中心とした多職種協働による取組	司法書士を招いた合同相談会における相談件数	R1 14件	目標値	14	16	18	20	22	件以上	高齢者福祉課
			実績値	0	9	2				
			評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
0402 成年後見制度の活用	成年後見人等への報酬支払助成件数	R1 1件	目標値	3	4	5	6	7	件以上	高齢者福祉課
			実績値	9	8	16				
			評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
0403 高齢者虐待の防止	伊東市家庭内暴力及び虐待防止連絡協議会等への参加	R1 年1回	目標値	1	1	1	1	1	回以上	高齢者福祉課
			実績値	0	1	1				
			評　価	× 未達成	○ 達成	○ 達成				

年度評価

R3

0401 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、相談会をとりやめ、各地域包括支援センターや認知症疾患医療センターの紹介パネルをショッピングセンターに展示した。今後は、一部リモートで相談を行うハイブリッド方式による相談会の実施を検討してい

0402 経済的に困窮している身寄り無し高齢者の成年後見人申立て件数が増加しているため、報酬助成申請も比例して増加している。

0403 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催が中止となり、各機関による虐待対応実績の報告資料を共有するのみとなった。今後は事例検討を行えるように、コロナ禍における開催方法を検討していく。

R4

0401 個人情報保護及び新型コロナウイルス感染予防のため、個別相談に適した環境を整えたが、立ち寄って相談するという方は少なく目標を下回った。今後、相談会の周知方法の改善やミニ講話の実施など認知度の向上に向けた取組を行っていく。

0402 経済的に困窮している身寄り無し高齢者の成年後見人申立て件数が増加しているため、報酬助成申請も目標値を上回った。

0403 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、伊東市家庭内暴力及び虐待防止連絡協議会を書面にて開催した。各支援機関の虐待ケースを報告し、連携強化に努めた。

R5

0401 終活講座や対島地域包括支援センターが主体として実施する「いきいき健康フェスタ」等において、司法書士と協働で相談対応をする機会が増えたことに伴い、合同相談会における相談件数が目標値を下回った。

0402 高齢化率の増加に比例し、経済的に困窮している身寄り無し高齢者の成年後見人申立て件数が増加しているため、報酬助成申請も目標値を上回った。

0403 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、伊東市家庭内暴力及び虐待防止連絡協議会を書面にて開催した。各支援機関の虐待ケースを報告し、連携強化に努めた。

中間評価

0401（達成状況） **D**

（実績評価）・司法書士を招いた合同相談会での相談件数に限定した数値を指標としているため、実績が目標に達していないものの、司法書士を招いた年６回開催の終活講座や年４回開催の専門職による勉強会等での相談実績があり、高齢者の権利擁護を支援した。

（今後の対応）・引き続き、司法書士との連携を図るとともに、協働で高齢者の権利擁護に係る相談を受ける機会を増やしていく。

0402（達成状況） **A**

（実績評価）・成年後見制度における費用助成制度の利用者が目標値を大きく上回っており、当初見込んだ目標値以上の認知度が伺われるとともに、費用助成を必要とする高齢者が増加した。

（今後の対応）・今後も効果的な周知を図るとともに、必要に応じて費用助成制度の拡充等検討していく。

0403（達成状況） **B**

（実績評価）・虐待ケース対応について、随時関係機関との協議を実施することができている。

（今後の対応）・今後も虐待ケースが発生した場合に備え、関係機関との連携を強化するとともに、課題を検討していく。

05　地域包括ケアシステムの構築

達成状況						
指標数	4	4	4	4	4	
達成数	2	3	2	0	0	
達成率	50.0%	75.0%	50.0%	0.0%	0.0%	

	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0501	地域ケア会議による課題解決	地域包括支援センターを中心に運営する地域ケア個別会議の開催数	R1 15回	目標値	11	13	15	17	19	回以上	高齢者福祉課
				実績値	27	27	25				
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0502	在宅医療・介護連携の推進	多職種連携研修会の開催数	R1 1回	目標値	2	2	2	2	2	回以上	高齢者福祉課
				実績値	1	2	2				
				評　価	×　未達成	○　達成	○　達成				
0503	認知症サポーターの養成	認知症サポーター養成講座受講者数	R1 598人	目標値	800	900	1,000	1,000	1,000	人以上	高齢者福祉課
				実績値	408	469	482				
				評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				
0504	企業及び警察の協力並びにＩＣＴ機器を活用した認知症高齢者の見守り	伊東市高齢者あんしん見守りネットワーク事業登録者総数	R3.1月末 28件	目標値	35	40	45	50	55	件以上	高齢者福祉課
				実績値	39	47	42				
				評　価	○　達成	○　達成	×　未達成				

年度評価

R3	0501	各地域包括支援センターにて困難事例の課題解決を目的とした地域ケア会議だけでなく、地域間の課題抽出及び関係者のネットワーク構築を目的とした地域ケア会議を行ったことにより、見込みよりも開催数が多くなった。
	0502	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、目標どおり実施することはできなかった。令和４年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、Ｗｅｂで開催する等開催方法を検討して実施できるようにする。
	0503	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、予定どおりに実施することができなかった。令和４年度は、チームオレンジの結成に向けて受講回数は増えることが見込まれる。
	0504	高齢者人口の増加に伴い、認知症高齢者や行方不明者となる可能性が高い対象者が増加しているため、登録件数も増加している。
R4	0501	各地域包括支援センターにて困難事例の課題解決を目的とした地域ケア会議だけでなく、地域間の課題抽出及び支援者間のネットワーク構築を目的とした地域ケア会議及び自立支援型地域ケア会議を開催したことにより、目標値を上回った。
	0502	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じ予定どおり実施できた。令和5年度以降も目標値を目指し、内容も充実していきたい。
	0503	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1回の参加人数や開催回数を制限していることもあり、目標値を下回ったが、令和3年度に比べ、開催回数や人数が増加していることから、感染状況を考慮しながら、積極的に事業を推進していく。
	0504	目標を達成することができたので、引き続き事業の周知を図っていく。
R5	0501	各地域包括支援センターにて困難事例の課題解決を目的とした地域ケア会議だけでなく、地域間の課題抽出及び関係者のネットワーク構築を目的とした地域ケア会議を行ったことにより、見込みよりも開催数が多くなった。
	0502	コロナ禍であったが予定通り研修会を実施し、目標値を達成することが出来た。引き続き在宅医療・介護連携の推進に向けた多職種間の連携強化の取組を行っていく。
	0503	コロナ禍により目標値は下回ったが、開催回数を増やすことにより受講者数は年々増加しているので、目標達成に向けて講座の告知等を積極的に行い、目標達成を目指すものとする。
	0504	施設入所等で登録を取り下げた人が見込みよりも多く、目標値を下回った。

中間評価

0501（達成状況）	A
（実績評価）	・困難事例の課題解決を目的とした地域ケア会議だけでなく、地域間の課題抽出及び支援者間のネットワーク構築を目的とした地域ケア会議及び自立支援型地域ケア会議を開催を行い、各地域包括支援センターにおいて問題解決に向けた取組ができた。
（今後の対応）	・地域間の課題抽出及び支援者間のネットワーク構築を目的とした地域ケア会議及び自立支援型地域ケア会議を目的とした会議を開催を行い、困難事例を現場での解決に向けたスキルアップを図っていきたい。
0502（達成状況）	B
（実績評価）	・新型コロナウイルス感染症感染拡大ピーク時には、目標値の回数を開催することはできなかったが、以降は開催方法を工夫し、目標回数を達成した。
（今後の対応）	・引き続き、在宅医療・介護連携の推進に向けて、多職種間の連携強化の取組を企画していく。
0503（達成状況）	D
（実績評価）	・コロナ禍により目標値は下回っているが、開催回数を増やすことにより徐々に受講者数は伸びている。
（今後の対応）	・高齢者人口の増加に伴い認知症高齢者数の増加も見込まれるため、認知症への正しい理解の普及は必要不可欠であることから、本講座の周知を引き続き行うとともに、開催方法の検討をしていく。
0504（達成状況）	C
（実績評価）	・令和５年度は目標値を下回っているが、令和３年度・４年度は目標値を達成している。本事業登録者が行方不明時に早期に発見される等の実績がある。
（今後の対応）	・本事業の周知を積極的に行っていく。

06　介護保険サービスの向上

達成状況						
指標数	2	2	2	2	2	
達成数	0	0	1	0	0	
達成率	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0601 介護給付費適正化の推進	市の指定事業所への実地指導回数	R1 23回	目標値	32	32	32	32	32	回以上	高齢者福祉課
			実績値	6	22	36				
			評　価	×　未達成	×　未達成	○　達成				
0602 介護保険相談員の配置	介護保険事業所訪問回数	― ※8	目標値	24	24	24	24	24	件以上	高齢者福祉課
			実績値	0	0	18				
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				

年度評価

R3	0601 新型コロナウイルス感染症感染拡大のため目標どおり実施することはできなかった。令和4年度についても、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し実施する。
	0602 新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、事業所への訪問ができなかった。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し実施する。
R4	0601 新型コロナウイルス感染症の影響により、実地指導が難しい状況ではあったが、令和４年度も目標値を下回った。令和５年度は、新型コロナウイルス感染症が５類移行となるため、実地指導を確実に実施していきたい。
	0602 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業所へ訪問しての相談・支援ができなかった。令和５年度は、訪問時期など、受け入れ側に負担とならない工夫をして、実施していきたい。
R5	0601 新型コロナウイルス感染症の５類移行後、運営指導を月２～４回行い、３年以上実地指導を実施していない事業所はなくなった。
	0602 新型コロナウイルス感染症が５類移行となり、令和5年6月から訪問を開始した。事業所利用者からの聞き取り内容を、事業所責任者へ直接伝え、業務改善につながった。

中間評価

0601（達成状況）**B+**

（実績評価）	・新型コロナウイルス感染症の影響により令和３～４年度は、実施指導が難しかったが、５類移行により事業所への訪問が可能となったため、令和５年度は目標を達成できた。
（今後の対応）	・令和６～７年度は、月２～３回実地指導を行えるよう訪問スケジュールを組み、介護給付の適正化を進めていく。

0602（達成状況）**D**

（実績評価）	・新型コロナウイルス感染症の影響により令和３～４年度は、事業所への訪問ができなかったが、令和５年度は、５類移行により事業所への訪問が可能となったため、目標に近づいた。
（今後の対応）	・令和６～７年度は、月２回程度事業所を訪問し、利用者から聞き取りを行い、よりよい事業所運営につながるよう利用者の声を届けていく。

※8　介護保険相談員の配置は、令和元年度からの新規事業であるが、新型コロナウイルス感染症拡大により事業所への訪問実績がないため、基準値は―となっている。また、目標値は、新型コロナウイルス感染症がなかった場合の設定としている。（月２回×12か月＝24件）

07　介護人材の育成

達成状況						
指標数	2	2	2	2	2	
達成数	0	0	0	0	0	
達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0701 基準緩和型サービス研修による人材の養成	基準緩和型サービス研修の育成数	R1 48人	目標値	50	50	50	30	30	人以上	高齢者福祉課
			実績値	25	27	30				
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				
0702 養成した人材を必要とする介護事業所とのマッチング	上記受講者の内の事業所採用者数	R1 9人	目標値	10	10	10	10	10	人以上	高齢者福祉課
			実績値	7	6	1				
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				

年度評価

R3	0701 新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、受講者数を限定し、席の間隔を空けて実施したため、目標どおり実施することはできなかった。令和4年度についても、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し実施する。
	0702 基準緩和型サービス研修による人材の養成の実績値（人数）の中で、介護事業所とのマッチングを行うため、目標には到達しなかった。
R4	0701 新型コロナウイルス感染予防のため、研修の人数の定員を制限していることから、目標値を下回った。受講希望の多い研修であるので、感染予防に配慮しつつ、実施方法等の見直しを図っていきたい。
	0702 養成した人材と介護事業者との意識のギャップによって、マッチングに至らないケースも散見されたため、養成した人材の介護知識・技術向上意欲の増進を図り、介護事業者に人材育成の啓発活動を行っていく。
R5	0701 研修の人数の定員を制限しなかったが、周知方法が不十分だったため、目標値を下回った。受講希望の多い研修であるので、感染予防に配慮しつつ、実施方法等の見直しを図っていきたい。
	0702 養成した人材と介護事業者との意識のギャップによって、マッチングに至らないケースも散見されたため、引き続き、養成した人材の介護知識・技術向上意欲の増進を図り、介護事業者に人材育成の啓発活動を行っていく。

中間評価

0701（達成状況）**D**

（実績評価）	・令和３～４年度は感染症拡大防止策で受講者数を制限していたため、目標値は下回っているが、例年、徐々に受講者数は伸びている。
（今後の対応）	・受講者の周知を一般市民だけでなく、後期高齢者福祉・介護保険事業計画上で県の指針に示されているとおり、学校における福祉教育の一環も兼ねて、生徒・学生を誘致し、介護職場の正しい理解促進及び将来の介護人材育成を図っていく。

0702（達成状況）**D**

（実績評価）	・養成した人材と介護事業者との意識のギャップによって、マッチングに至らないケースも散見されている。
（今後の対応）	・令和6年度から指定介護事業所における給与（単位数）増加を行ったことにより、今後のサービス利用者数が増加し、各指定介護事業所における雇用人数も増えていくことで、養成した人材と介護事業者との意識のギャップを徐々に解消していく。

担当課		社会福祉課
政策目標	2	誰もが健やかに暮らし活躍できるまち
施策分野	6	障がい者福祉の充実
目指す姿		障がい者（児）・その家族にとって障がい者（児）が安心して生活することができる

施策２－６の全指標達成率					
年度	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	13	13	13	13	13
達成数	9	8	11	0	0
達成率	69.2%	61.5%	84.6%	0.0%	0.0%

1　成果指標（ＫＰＩ）

指標数	4	4	4	4	4		
達成数	3	3	3	0	0		
達成率	75.0%	75.0%	75.0%	0.0%	0.0%		

成果指標1	相談支援事業所の相談件数	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値	8,100	8,200	8,300	8,400	8,500	件	社会福祉課
		7,920件	実績値	8,295	10,467	9,328				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成			以上	
目標値の考え方	平成28年度から令和元年度までの前年度対比では、その年度により増減が異なるが、総数全体は増加している。一方で相談を受ける事業所については新規事業所がなく、職員体制の変更がない状況である。そのため、令和元年度から毎年約100人の増加を見込んだ。									

成果指標2	障がい福祉サービス支給決定者数（実数）	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値	603	610	617	624	630	人	社会福祉課
		587人	実績値	630	655	677				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成			以上	
目標値の考え方	障がい福祉サービス支給決定者数は平成29年度559人、平成30年度573人、令和元年度587人と毎年10数人程度増加している。障がい者の高齢化（65歳到達）により、障害福祉サービスから介護保険のサービスへの移行も毎年微増している。そのため、令和３年度から毎年度7人程度の増加を見込んだ。									

成果指標3	市内企業の障がい者雇用率（年度末数値）	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値	2.10	2.15	2.50	2.60	2.68	%	社会福祉課
		2.02%	実績値	2.29	2.07	2.12				
			評　価	○　達成	×　未達成	×　未達成			以上	
目標値の考え方	令和３年４月に法定雇用率が2.3%に変更される。本市の実績は平成30年度が1.96%、令和元年度が2.02%となっている。その上昇率に近い0.05%を毎年度の上昇率と見込み、令和３年度を2.10%とし、計画期間内での目標達成を目指し、毎年度0.05%の上昇率とした。障がい者法定雇用率が令和６年４月に２．５%、令和８年７月に２．７%に段階的に引き上げられることが令和５年１月に通知された。これに伴い令和５年から令和７年の数値を新たな法定雇用率に合わせた数値目標とする。									

成果指標4	障がい福祉サービス利用後の一般就労者数	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値	2	2	2	4	5	人	社会福祉課
		3人	実績値	1	3	7				
			評　価	×　未達成	○　達成	○　達成			以上	
目標値の考え方	第６期障がい福祉計画（令和３年度から令和５年度）では令和元年度実績を基に国の基本方針（1.23%以上）を踏まえ３年度で６人としている。また、同計画でもハローワーク等の関係機関との連携を強化し、一般就労への移行を努めることとしている。そのため、令和６年度以降の一般就労移行者を増やすため、令和6、７年度の数値を設定した。									

R３年度	１（実績評価）	・相談支援事業所の周知が進み、相談件数は増えている。
	（次年度修正点）	・相談支援事業所の人員配置等に変更はないため、次年度の修正はなし。
	２（実績評価）	・児童の事業所が新規開設したことが一因と考えられるが、支給決定者数が目標値を上回った。
	（次年度修正点）	・令和３年度の上昇が一時的なものか検証するため、次年度の修正はなし。
	３（実績評価）	・障がい者雇用率が企業努力により、大幅に上昇した。
	（次年度修正点）	・コロナ禍における、企業の障がい者雇用の動向を確認するため、次年度の修正はなし。
	４（実績評価）	・２人が一般就労したが、そのうち１人が退職し、障害福祉サービスを再度利用している。新型コロナウイルス感染症の影響で障がい者の一般就労は厳しいが、今後も関係機関と連携していく。
	（次年度修正点）	・次年度の修正はなし。
R４年度	１（実績評価）	・電話による相談件数が多くなっている。
	（次年度修正点）	・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、電話相談が増加している。今後も相談支援事業所の周知を行う。
	２（実績評価）	・障害福祉サービス利用者数は増加している。
	（次年度修正点）	・今後も相談支援事業所等からの報告を受け、障がい福祉サービスの必要な方へ支給決定を行う。
	３（実績評価）	・令和３年に企業の合併等により、ハローワーク伊東に報告する対象企業が増えたことにより、障がい者雇用率が増えた。しかし、令和４年は本社の譲渡等により、同報告対象企業が変更したため、障がい者雇用率が大きく減少した。
	（次年度修正点）	・ハローワーク伊東等と連携を強化し、法定雇用率の確保を目指す。
	４（実績評価）	・障害者就労・生活支援センターが２人の就労の支援を行った。
	（次年度修正点）	・引き続き、ハローワーク伊東等と連携を図る。

R５年度	１（実績評価）	・対面相談だけでなく、電話相談等の多様な相談手段により、相談件数は目標値を超えている。
	（次年度修正点）	・相談件数が以前より増えているが、相談支援事業所及びその相談員が増えないため、修正はなし。
	２（実績評価）	・令和５年度中に新規障害児通所支援事業所の開設もあり、障害児福祉サービスの利用者が前年度より増加した。
	（次年度修正点）	・今後も相談支援事業所等からの報告を受け、障害福祉サービスの必要な方へ支給決定を行う。
	３（実績評価）	・市内企業の多くが従事者数１００人以下のため、法定雇用率を達成しなくても納付金の支払対象ではない。そのため、障がい者雇用には理解をしても、雇用まで達していない状況である。
	（次年度修正点）	・ハローワーク伊東等と連携を強化し、法定雇用率の確保を目指す。
	４（実績評価）	・障害者就労・生活支援センターや就労継続支援事業所の支援により、大幅に一般就労移行者が増えた。
	（次年度修正点）	・引き続き、ハローワーク伊東等と連携を図る。
中間評価	１（達成状況）	A
	（実績評価）	・新型コロナウイルス感染予防から、電話相談等の対面以外の相談が増えたことにより、相談件数も増加している。
	（今後の対応）	・相談件数が以前より増えているが、相談支援事業所及びその相談員が増えない状況である。相談支援事業所との連携を強化し、相談内容を共有していく。
	２（達成状況）	A
	（実績評価）	・児童の数が減少しているにもかかわらず、中間評価時点では、障害児福祉サービスの利用者については、その影響が少ない。
	（今後の対応）	・障害福祉サービス等の必要な方には、相談支援事業所と協議し、支給決定を行う。
	３（達成状況）	C
	（実績評価）	・市内企業の多くが従事者数１００人以下のため、法定雇用率を達成しなくても納付金の支払対象ではない。そのため、目標値に達していない状況である。
	（今後の対応）	・ハローワーク伊東等と連携を強化し、障がい者の法定雇用率を高くしていく。
	４（達成状況）	B+
	（実績評価）	・障害者就労・生活支援センターや就労継続支援事業所の支援により、一般就労への移行者が増えてきている。
	（今後の対応）	・障害者就労・生活支援センター等により、一般就労が継続できる支援・相談を行っていく。

2　基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）								※ 基本的な取組・主な内容の達成状況
		指標数	9	9	9	9	9	
		達成数	6	5	8	0	0	
		達成率	66.7%	55.6%	88.9%	0.0%	0.0%	
01　相談体制及び情報提供の充実	達成状況	指標数	3	3	3	3	3	
		達成数	3	2	3	0	0	
		達成率	100.0%	66.7%	100.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0101　相談支援の充実	相談支援事業所における専門職の割合	R1 100%	目標値	100	100	100	100	100	%	社会福祉課
			実績値	100	100	100				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0102　各相談会の広報への掲載	広報いとう及びホームページへの掲載回数	R1 12回	目標値	12	12	12	12	12	回以上	社会福祉課
			実績値	12	12	12				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0103　障がい福祉サービスについての情報提供の充実	新規障害福祉サービス利用者数	R1 86人	目標値	80	70	65	60	55	人以上	社会福祉課
			実績値	81	57	86				
			評　価	○　達成	×　未達成	○　達成				

年度評価		
R3	0101	相談支援事業所の従事者については、全員が専門職である状況である。
	0102	毎月、広報いとうに相談会の日程を掲載した。
	0103	児童の事業所が新規開設したことが一因と考えられるが、新規利用者数の目標値を達成できた。
R4	0101	令和４年度も相談支援事業所の計画相談員がすべての相談を行った。
	0102	補聴器及び身体、知的、精神障害の相談会を掲載した。
	0103	目標値を下回ったものの、これまで障がい福祉サービスを利用していなかった対象者に周知することで、新規利用につながった。その結果、継続者を含む支給決定者数（障害福祉サービス利用者の実数）が増加していることに伴い、今後の新規障がい福祉サービス利用者数の減が見込まれることから、目標値を変更した。
R5	0101	令和５年度も相談支援事業所の計画相談員がすべての相談を行った。
	0102	補聴器及び身体、知的、精神障害の相談会を掲載した。
	0103	障害児福祉サービスの新規利用者が大幅に増加したことによる。

中間評価		
0101（達成状況）	A	
（実績評価）	・相談支援事業所の従事者については、全員が専門職である状況である。	
（今後の対応）	・障がい者等からの相談が全国的に増加傾向であり、令和６年度制度改正により、相談支援専門員以外でも社会福祉士等が相談支援員として相談ができるように指定基準が見直された。相談支援事業所との情報共有の連携強化に努めていく。	
0102（達成状況）	A	
（実績評価）	・毎月、広報いとうに相談会の日程を掲載している。	
（今後の対応）	・今後も継続的に広報いとうへの掲載を行っていく。	
0103（達成状況）	B+	
（実績評価）	・令和５年度新規障害児福祉サービスの新規利用者が大幅に増加した結果によるものであり、今後の推移を注視していく必要がある。	
（今後の対応）	・出生率の減少を考慮すると、障害児福祉サービスの新規利用者が減少していくと考えられるが、既手帳所持者による利用者数は増加しているので、その動向を注視しながら、制度の周知を図っていく。	

02　障がい福祉サービスの充実	達成状況	指標数	1	1	1	1	1	
		達成数	0	0	1	0	0	
		達成率	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0201　熱海伊東地区（圏域）地域自立支援協議会における障がい福祉サービス事業所との協議及び連携による問題解決	熱海伊東地区（圏域）地域自立支援協議会の専門部会における事例検討会の実施回数	R1 6回	目標値	7	7	4（7）	4（7）	4（7）	回以上	社会福祉課
			実績値	3	0	6				
			評　価	×　未達成	×　未達成	○　達成				

年度評価		
R3	0201	専門部会がリモートでの開催となり、事例検討を行う機会が少なくなり、目標を達成できなかった。
R4	0201	令和４年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、書面開催によって課題検討が多く行われた。今後、障がい福祉サービスの充実を目的として、課題検討や講師を招いた勉強会を開催するとともに、各部会にて年１回以上は事例検討会を実施する。今後も、事例検討会以外の対応策を講じることから、目標値を変更した。
R5	0201	対面にて専門部会を行い、３つの専門部会において、事例検討会を行った。

中間評価		
0201（達成状況）	B+	
（実績評価）	・対面による専門部会が実施されれば、事例検討会を行える状況である。	
（今後の対応）	・事例検討会での問題解決方法等の把握により、より専門的な相談・支援を行っていく。	

03 障がい者（児）への理解の促進・啓発

達成状況						
指標数	3	3	3	3	3	
達成数	1	1	2	0	0	
達成率	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	

主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0301	事業所授産品等の展示会・販売会の開催	障がい者による授産品の販売会の開催回数	R1 10回	目標値	11	11	11	11	11	回以上	社会福祉課
				実績値	1	8	13				
				評　価	× 未達成	× 未達成	○ 達成				
0302	障がい者（児）と地域の相互理解の促進	中高生に対する体験授業等及び障害者スポーツ大会の実施回数	R1 2回	目標値	2	2	2	2	2	回以上	社会福祉課
				実績値	0	1	1				
				評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
0303	障がい者（児）虐待防止のための啓発活動の充実	啓発活動(街頭啓発等)の実施回数	R1 1回	目標値	2	2	2	2	2	回以上	社会福祉課
				実績値	2	2	2				
				評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				

年度評価

R3	0301 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、授産品の販売会を中止し、１回のみの開催となった。
	0302 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和３年度の事業が中止となった。
	0303 ポスター掲示と障害者週間を活用した啓発活動を行った。
R4	0301 販売会を開催予定したが、新型コロナウイルス感染の影響を受け中止したことにより、未達成となった。新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたことに伴い、予定通り開催できるように計画していく。
	0302 障害者スポーツ大会の開催を予定していたが、開催直前に新型コロナウイルス感染の影響を受け中止したことにより、未達成となった。新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたことに伴い、予定通り開催できるように計画していく。
	0303 障害者週間及び障害者差別解消への啓発としてポスター掲示を行った。
R5	0301 定期的な販売会以外に障害者就労施設等のPRのため、伊東マリンタウンにて販売会を行った。
	0302 新型コロナウイルス感染防止のため、障がい者スポーツ大会を中止した。
	0303 障害者週間及び障害者差別解消への啓発としてポスター掲示を行った。

中間評価

0301（達成状況）	**B+**
（実績評価）	・新型コロナウイルス感染防止のため、販売会等を中止していたが、再開したことにより開催数を確保できた。
（今後の対応）	・販売会等を通じて障害者就労施設等の市民への理解を高めていく。
0302（達成状況）	**D**
（実績評価）	・新型コロナウイルス感染症の影響から、中高生に対する福祉体験事業は再開できたが、障がい者スポーツ大会は自粛している。
（今後の対応）	・障がい者スポーツ大会の中止に伴い、障害者就労施設等にスポーツ大会の開催を依頼した。そこでは、障がい者スポーツ大会に参加できない重度障がい者も参加できている。このような状況から、効果的なスポーツ大会の開催方法を検討していく。
0303（達成状況）	**A**
（実績評価）	・継続的に啓発活動を行っている。
（今後の対応）	・引き続き、効果的な啓発方法の充実を図っていく。

04 障がい者雇用の推進

達成状況						
指標数	2	2	2	2	2	
達成数	2	2	2	0	0	
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0401	ハローワーク等の関係機関との連携	就労関係機関が参加する特別支援学校の就職相談会への参加回数	R1 2回	目標値	2	2	2	2	2	回以上	社会福祉課
				実績値	2	2	2				
				評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
0402	熱海伊東地区（圏域）地域自立支援協議会就労支援部会の充実	就労問題に関する事例検討会の実施回数	R1 6回	目標値	6	6	6	6	6	回以上	社会福祉課
				実績値	6	16	14				
				評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				

年度評価

R3	0401 就労促進協議会に２回参加し、特別支援学校の卒業見込みの生徒の進路相談を行った。
	0402 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、リモート会議となった場合もあったが、就労支援部会にて、障がい者の就労問題を協議した。
R4	0401 東部特別支援学校伊豆高原分校にて卒業生の進路相談会に参加した。
	0402 就労部会及びそれに付随する部会に参加した。
R5	0401 東部特別支援学校伊豆高原分校にて卒業生の進路相談会に参加した。
	0402 就労支援部会等で事例検討を行った。

中間評価

0401（達成状況）	**A**
（実績評価）	・東部特別支援学校伊豆高原分校にて卒業生の進路相談会については、継続的に参加している。
（今後の対応）	・今後も参加し、卒業後に支援が必要な人の情報共有を図る。
0402（達成状況）	**A**
（実績評価）	・対面での就労支援部会等の会議が行われ、事例検討を実施できている。
（今後の対応）	・今後も継続的に就労部会等に参加し、障がい者の就労を支援していく。

担当課		社会福祉課
政策目標	2	誰もが健やかに暮らし活躍できるまち
施策分野	7	地域福祉の充実
目指す姿		支援を必要とする人が住み慣れた地域の中で支え合い共に暮らすことができる 地域の多くの人が地域福祉活動等へ参加することで地域が活性化される

施策２－７の全指標達成率					
年度	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	14	14	14	14	14
達成数	9	8	9	0	0
達成率	64.3%	57.1%	64.3%	0.0%	0.0%

1　成果指標（ＫＰＩ）

指標数	2	2	2	2	2
達成数	1	0	1	0	0
達成率	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%

成果指標1　「地域内の助け合いなどの地域福祉の充実」に満足している市民の割合（市民満足度調査）

基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
R2 63.2%	目標値	64.0	64.0	64.0	65.0	65.0	% 以上	社会福祉課
	実績値	64.3	62.4	64.1				
	評　価	○　達成	×　未達成	○　達成				

目標値の考え方：平成30年度実績63.4%、令和元年度実績59.0%で、令和元年度以前３年間の平均割合が61.53%。年度により評価に差があるため、安定した評価が得られるよう業務に取り組み、基準値から２%以上の上昇が達成できるよう65.0%以上とした。

成果指標2　ボランティアセンターによるボランティア活動あっ旋件数

基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
R1 18件	目標値	25	30	40	50	60	件 以上	社会福祉課
	実績値	8	7	9				
	評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				

目標値の考え方：平成30年度実績34件、令和元年度実績18件と利用数が減少傾向にあることから、地域の実情と利用者のニーズ把握に努め、ボランティア活動の利用増を目指していくため、毎年10件増の目標値設定とした。

R3年度

1（実績評価）・目標値を0.3%上回り目標に達することができた。

（次年度修正）・地域福祉に関連する各個別計画を推進していくことで、評価が安定するよう努めていく。

2（実績評価）・続くコロナ禍の影響により活動にも制限が見られ、件数を伸ばすことができなかった。

（次年度修正）・行動自粛が久しく続き、活動に関する認知度の低下が懸念されることから、事業の周知に努めていく。

R4年度

1（実績評価）・コロナ禍で閉塞的な日常、不安を感じる日々が長く続き、多くのことが疎遠になってしまったことが、一人ひとりの不安を生み「満足していない」数値に現れたと思われる。

（次年度修正）・新型コロナウイルス感染症の影響で人と人との関わり合いが薄れ、相談や支援が行き届かなくなってきていることから、まずは地域福祉に関する広報活動を積極的に行い、関わり合いができる環境に戻れるよう努めていく。

2（実績評価）・コロナ禍であったこともあり、積極的な周知活動等は控えていたため、利用数が伸びることはなかった。

（次年度修正）・新型コロナウイルス感染症が収束してきたことを踏まえ、ボランティア活動に関する周知を積極的に行い、利用者の増加を図る。

R5年度

1（実績評価）・地域福祉に関する取組が評価され、１年ぶりに実績値が64%台に回復し、目標値を0.1%ながら上回ることができた。

（次年度修正）・新たに策定された地域福祉計画を推進していくことで、目標値の達成に努めていく。

2（実績評価）・個人からの依頼は減ったまま回復せず、件数を伸ばすことが出来なかった。

（次年度修正）・引き続き事業所との情報交換や各種催しにおいてニーズ調査を行うなどの取組を検討していく。

中間評価

1（達成状況）**B+**

（実績評価）・目標値を僅かながら上回っていることから一定の評価は得ているので、今後も地域福祉に関連する施策を展開していく。

（今後の対応）・令和６年度より新たな地域福祉計画の計画期間となるので、当該計画に掲げる施策を推進していくことで、目標値の達成に努めていく。

2（達成状況）**D**

（実績評価）・行政サービス等の充実により、かつてボランティアセンターが担っていた依頼業務が減りつつあること、新型コロナウイルスにより人との関わり合いが薄れてきたことが大きな要因と考えられる。

（今後の対応）・他者との住み分けを明確にし、地域との関わり合いを増やしていくことで、ボランティア活動の輪を広げ、地域福祉の充実につなげていく。

2　基本的な取組（２桁コード）・主な内容（４桁コード）

指標数	12	12	12	12	12	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況
達成数	8	8	8	0	0	
達成率	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	

01　社会福祉関係団体が行う地域福祉活動の支援

達成状況						
指標数	1	1	1	1	1	
達成数	0	0	1	0	0	
達成率	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0101　子ども・高齢者・障がい者の地域交流が図られるイベントの推進	交流イベント参加者数	R1 2,344人	目標値	2,400	2,400	1,000	1,200	1,500	人 以上	社会福祉課
			実績値	0	0	1,000				
			評　価	×　未達成	×　未達成	○　達成				

年度評価

R3　0101　コロナ禍におけるイベント自粛が続いたため、交流イベントを開催することができなかった。

R4　0101　令和4年度は台風接近により事業が中止。新型コロナウイルス感染症や台風など、外的な要因により中止が続いているため、引き続き安全面を考慮し開催を行う。令和5年度はコロナ禍を経てイベント形態も以前と変わり、ブース間の距離をとり感染症対策も継続するなど、全体的に規模の縮小化を図ることから、令和5年度の目標値を修正するとともに、安全面に配慮しつつ、段階的な増加を目指すものとして、令和６年度以降の目標値を修正する。

R5　0101　新型コロナウイルス感染症の５類移行に伴い、対面形式でのイベントが開催されたことから目標を達成することができた。

中間評価

0101（達成状況）**B**

（実績評価）・新型コロナウイルスの流行により事業の実施ができない年が続いたものの、５類移行により少しずつイベントも開催されるようになり、様々な配慮をしながら目標値達成に至ることができた。

（今後の対応）・対象が子どもや高齢者、障がい者などの配慮が必要な人たちであるため、引き続き対策を講じた上で事業を実施し目標の達成を目指していく。

02 介護・障がい福祉事業所における専門職不足の解消

達成状況						
指標数	1	1	1	1	1	
達成数	1	1	0	0	0	
達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0201 Ｕ｜ターン等により市内事業所に就業する有資格者に対する公的支援の実施	「はじめようITO新生活応援事業」申請者数	R2から募集３年間で30人（移住者）	目標値	10	10	30	30	-	人以上	社会福祉課
			実績値	47	38	14				
			評　価	○　達成	○　達成	×　未達成				

年度評価

R3	0201 目標値を大きく上回る申請があり、市内事業所における専門職人材の確保に繋がった。
R4	0201 前年度に比べ申請者は減ったが、目標値を超えることができた。
R5	0201 支援メニューの変更により利用者が減った結果、目標値を達成することができなかった。

中間評価

0201（達成状況） **C**

（実績評価）	・当初の募集期間（令和2～4年度）においては目標を超える利用があり、十分な成果を収めることができた。募集期間延長後は支援メニューの見直しにより利用者が減ったほか、前３年間の実績により一定の充足は図られたとみられる。
（今後の対応）	・市内事業所への実態調査を実施し、専門資格者の不足状況を把握するとともに、ニーズに合った事業展開を検討していく。

03 福祉ボランティアの養成

達成状況						
指標数	3	3	3	3	3	
達成数	2	2	3	0	0	
達成率	66.7%	66.7%	100.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0301 新規登録のための養成講座の開催	手話奉仕員養成講座への受講者数	R1 13人	目標値	15	15	15	15	15	人以上	社会福祉課
			実績値	15	12	17				
			評　価	○　達成	×　未達成	○　達成				
0302 登録者へのスキルアップ研修の開催	登録手話奉仕員基礎研修、点字、音訳講習会受講者数	R1 21人	目標値	25	25	25	25	25	人以上	社会福祉課
			実績値	11	25	25				
			評　価	×　未達成	○　達成	○　達成				
0303 情報共有のための連絡会の開催	市内ボランティア団体による交流及び情報交換会の開催	R1 11回	目標値	10	10	10	10	10	回以上	社会福祉課
			実績値	12	13	12				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				

年度評価

R3	0301 初めて受講する手話奉仕員養成講座（入門編）については、１６人の受講希望があり、そのうち１５人が受講し、目標値を達成することができた。
	0302 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、音訳講習会が中止となり、目標値を下回った。手話奉仕員養成基礎講座及び点字講習会については、感染予防に配慮し実施した。
	0303 社会福祉協議会においてボランティアビューロー（ボランティアグループ連絡会）を開催し、グループでの間の交流、情報交換を図ることができた。
R4	0301 手話奉仕員養成講座（入門編）の募集を広報いとう及び市内新聞に掲載したが、参加者が目標値に達しなかった。今後も手話奉仕員養成講座の開催時期や周知方法を検討しながら、手話奉仕員を養成する。
	0302 音訳講習会を再開した。
	0303 コロナ禍においても情報交換に努めるべく、感染拡大防止に努めながら情報交換会を実施した。
R5	0301 テレビドラマ等の影響もあり、高校生も養成講座に参加した。
	0302 音訳サークルから音訳講習会の中止の申出があったが、点字講習参加者が多く、目標を達成した。
	0303 社会福祉協議会においてボランティアビューロー（ボランティアグループ連絡会）を開催し、グループでの間の交流、情報交換を図ることができた。

中間評価

0301（達成状況） **B+**

（実績評価）	・テレビドラマ等の影響もあり、高校生も養成講座に参加したため、令和５年度の受講者が多かった。講習会の参加者の確保が課題である。
（今後の対応）	・他市の事例等を参考にし、継続的に受講生を確保していく。

0302（達成状況） **B**

（実績評価）	・令和５年度の受講者が多かった。講習会の参加者の確保が課題である。
（今後の対応）	・継続的に受講生を確保していくため、他市の事例等を参考にする。

0303（達成状況） **A**

（実績評価）	・定期的な連絡会の開催により情報交換を行ったほか、困窮世帯の児童に対する食物支援や清掃活動など協働による取組を実施している。
（今後の対応）	・引き続き相互交流や情報交換に努め、ニーズに合った活動を検討していく。

04	民生委員児童委員による避難行動要支援者への支援活動	達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
			達成数	2	2	2	0	0		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0401 地域の避難行動要支援者の実情把握	実情把握のための名簿の配付状況	R2 100%	目標値	100	100	100	100	100	%	社会福祉課
			実績値	100	100	100				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0402 必要な支援の実施	名簿登録者のうち、必要な対象者への個別計画票の作成状況	R2 100%	目標値	100	100	100	100	100	%	社会福祉課
			実績値	100	100	100				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				

年度評価		
R3	0401	各地区定例会に出席し、名簿に関する取扱い方法等について説明を行ったのち、委員への配付を行った。
	0402	新規登録者について個別計画票の作成を行った。引き続き個別計画票に係る情報の充足を図りつつ、次のステップである個別避難計画の作成に向けた準備を進めていく。
R4	0401	民生委員児童委員に対し避難行動要支援者名簿を配付したことで、地域住民の実態把握や見守り活動に活用することができた。
	0402	名簿情報の更新を行い、避難支援体制の整備に向けて、対象者の情報収集に努めた。
R5	0401	民生委員児童委員に対し避難行動要支援者名簿を配付したことで、地域住民の実態把握や見守り活動に活用することができた。
	0402	名簿情報の更新を行い、避難支援体制の整備に向けて、対象者の情報収集に努めた。

中間評価		
0401（達成状況）	A	
（実績評価）	・名簿対象者の抽出、情報の更新から避難支援等関係者への配付までの工程が確立されており、スムーズな対応ができている。	
（今後の対応）	・避難行動要支援者にとって災害時に必要な情報や、支援者にとって避難行動要支援者の必要とする情報など、本人や関係団体と協議し、活用しやすい名簿の作成を検討していく。	
0402（達成状況）	A	
（実績評価）	・名簿をもとに担当地域の状況を把握し見守り活動で対象者と顔合わせすることで、活動に役立てている。	
（今後の対応）	・民生委員の職務である見守り活動と絡めて、平常時から名簿対象者と関わり合いを持てるよう、引き続き取り組んでいく。	

05	生活困窮者等に対する相談支援の充実	達成状況	指標数	5	5	5	5	5		
			達成数	3	3	2	0	0		
			達成率	60.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%		

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0501 自立相談支援	月当たりの平均新規相談者件数	R1国目安値 人口10万人当たり16件	目標値	11	11	11	11	11	件以上	社会福祉課
			実績値	21	14	12				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0502 家計改善支援	家計再生プラン作成件数/自立相談支援プラン策定件数	H30～R2 32.79%	目標値	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	%以上	社会福祉課
			実績値	26.0	25.0	16.7				
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				
0503 住居確保支援	住居確保給付金支給件数	R1国目安値 人口10万人当たり6件	目標値	4	4	4	4	4	件以上	社会福祉課
			実績値	24	4	0				
			評　価	○　達成	○　達成	×　未達成				
0504 一時生活支援	仮住居の確保数	R2 2部屋	目標値	2	2	2	2	2	部屋以上	社会福祉課
			実績値	2	2	2				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0505 就労準備支援事業	支援者数	H27～R1 年平均3.2人	目標値	5	5	4	4	4	人以上	社会福祉課
			実績値	0	1	1				
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				

年度評価

R3

- 0501 新型コロナウイルス感染症の影響による離職等の増加で、相談件数が目標値より大幅に上回った。
- 0502 新型コロナウイルス感染症の影響による離職等の増加で、離職や収入減による相談が多く、家計の改善支援を要する対象者の占める割合が目標値を下回った。
- 0503 新型コロナウイルス感染症の影響による離職等の増加で、支給件数が目標値より大幅に上回った。
- 0504 特定非営利活動法人が運営する一時生活支援事業に県内１１市と共同で単年度で契約し、仮住居を確保することができた。
- 0505 支援対象者の早期支援を目指したが、支援対象者の掘り起こしにはつながらなかった。

R4

- 0501 件数は前年度の２/３に減少したが、依然としてコロナ禍の影響を受け、目標値を上回った。
- 0502 コロナ禍の長期化の影響を受けた離職や収入減による支援対象者が多く、家計改善を要する対象者の占める割合が低かったため目標値を下回った。引き続き、支援対象者への対応の中で家計改善が必要とされるケースについては、家計再生プランの作成を積極的に勧めていく。
- 0503 件数は前年度の１/６にまで減少したが、年間を通して支給決定しており、今後も一定数の申請・支給決定が予想される。
- 0504 前年度に引き続き、特定非営利活動法人が運営する一時生活支援事業に県内１１市と共同で単年度で契約し、仮住居を安定的に確保することができた。
- 0505 支援対象者となる稼働年齢層が減少傾向にあることから目標値をやや下方修正するとともに、事業の周知が不十分だったことも考えられるため、改めて、支援対象者となり得るケースに対しては積極的に事業利用を促す等、支援対象者の掘り起こしを図っていく。

R5

- 0501 件数は前年度に引き続き減少したが、依然としてコロナ禍の影響を受け、目標値を上回った。
- 0502 収入減による支援対象者が多く、家計改善を要する対象者が少なかったため目標値を下回った。引き続き、対応の中で家計改善が必要とされるケースについては、積極的に家計再生プランの作成を勧めていく。
- 0503 相談件数も２件に留まり、初の支給件数０件であった。有効求人倍率もコロナ禍前に迫る回復をしており、離職者の減少が影響したと思われる。また、支給回数に限りがある制度のため、利用者も一巡したものと考える。
- 0504 前年度に引き続き、特定非営利活動法人が運営する一時生活支援事業に県内１２市と共同で単年度で契約し、仮住居を安定的に確保することができた。
- 0505 自立相談支援事業の利用者で、事業の対象となる者に対して事業の利用を勧めてきた。引き続き、支援対象者となり得るケースに対しては積極的に事業利用を促す等、支援対象者の掘り起こしを図っていく。

中間評価

0501（達成状況） **A**

（実績評価）・令和3年度以降、減少傾向にあるものの、目標値を上回る実績が続いている。

（今後の対応）・引き続き減少傾向が続くことも想定されるため、真に支援を必要とする者からの相談を取りこぼさないよう、関係機関との連携を図っていく。

0502（達成状況） **D**

（実績評価）・コロナ禍の影響で一定の実績はあったものの、5類移行に伴い減少傾向にあり、増加に転じる見通しがない。

（今後の対応）・自立相談支援事業と同様に、真に支援を必要とする者からの相談に対応できるよう、関係機関との連携を図っていく。

0503（達成状況） **C**

（実績評価）・コロナ禍の影響で一時的に目標を大きく上回ることもあったが、5類移行に伴い、急激に減少している。

（今後の対応）・まだ事業を利用していない支援対象者が既に少ないことが想定されるが、改めて事業の周知に努めていく。

0504（達成状況） **A**

（実績評価）・事業受託者や他市との協定を継続することで、安定的に実績を積み重ねることができている。

（今後の対応）・引き続き、事業受託者や他市との協定を継続していくことで、仮住居確保の安定性を維持していく。

0505（達成状況） **D**

（実績評価）・支援対象者となる稼働年齢層が減少傾向にあるとも考えられ、実績値は目標には遠く及ばなかった。

（今後の対応）・支援を必要とする者は一定数いると想定されることから、関係機関と連携して事業利用を促す等、支援対象者の掘り起こしを図っていく。

担当課		市民課・社会福祉課・教育指導課
政策目標	2	誰もが健やかに暮らし活躍できるまち
施策分野	8	多様性のある社会の実現
目指す姿		市民がお互いの個性と多様性を認め合い、いきいきと暮らすことができる

施策２－８の全指標達成率					
年度	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	10	10	10	10	10
達成数	5	4	6	0	0
達成率	50.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%

1　成果指標（ＫＰＩ）

	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	1	1	1	1	1
達成数	0	0	0	0	0
達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

成果指標	「お互いの個性と多様性を認め合う社会の実現」に満足している市民の割合（市民満足度調査）	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R2	目標値	60.2	61.4	62.6	63.8	65.0	%	市民課
		59.2%	実績値	57.0	54.6	62.0				
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成			以上	

目標値の考え方	お互いの個性と多様性を認め合う社会の実現に満足している市民の割合は、令和2年度からの調査項目であり、各年度１％程度の上昇を見込み、65.0%とした。
R3年度	（実績評価）・令和3年度実施の市民満足度調査結果は実績値57.0%で、目標値及び基準値よりも低い結果となり、「お互いの個性と多様性を認めあう社会の実現」に満足している市民の割合を増やすことができなかった。 （次年度修正点）・各分野の基本的な取組において管理指標目標値を適宜見直し、確実に実行する。
R4年度	（実績評価）・令和4年度実施の市民満足度調査結果は実績値54.6%で、目標値及び基準値よりも低い結果となり、「お互いの個性と多様性を認め合う社会の実現」に満足している市民の割合を増やすことができなかった。 （次年度修正点）・各分野の基本的な取組において管理指標目標値を適宜見直し、回数を管理指標としているものについては確実に実行する。
R5年度	（実績評価）・令和５年度実施の市民満足度調査結果は実績値62.0%で目標値未達成であったが、「お互いの個性と多様性を認め合う社会の実現」に満足している市民の割合を増やすことができた。 （次年度修正点）・引き続き各分野の基本的な取組において管理指標目標値を適宜見直し、回数を管理指標としているものについては確実に実行する。
中間評価	（達成状況）B-
	（実績評価）・未だ目標値を達成していないが、令和5年度は基準値を上回ることができ、３か年の実績値は上昇傾向となった。
	（今後の対応）・引き続き各分野の基本的な取組において管理指標の目標値を適宜見直し、回数を管理指標としているものについては確実に実行する。

2　基本的な取組（２桁コード）・主な内容（４桁コード）

	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	9	9	9	9	9
達成数	5	4	6	0	0
達成率	55.6%	44.4%	66.7%	0.0%	0.0%

※ 基本的な取組・主な内容の達成状況

01　人権を尊重する社会の推進

達成状況	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	1	1	1	1	1
達成数	1	1	1	0	0
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0101　人権教室等、人権に関する啓発活動の充実	啓発活動の実施回数	R2	目標値	8	10	11	11	11	回	市民課
		6回	実績値	10	11	11				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成			以上	

年度評価	R3	0101　広報紙等を利用した情報発信、啓発を行うとともに、人権擁護委員の協力を得て人権教室や街頭啓発活動等の各種啓発を行い、人権尊重意識の高揚を図った。令和３年度において目標値を達成したため、令和４年度以降の目標値を引き上げる。
	R4	0101　広報紙等を利用した情報発信を行うとともに、人権擁護委員の協力を得て幼稚園・小学校での人権教室、小学生の人権ポスター・花パネル展及び街頭啓発活動等を実施し、人権意識の醸成を図った。令和４年度において目標値を達成したため、令和５年度以降の目標値を引き上げる。
	R5	0101　広報紙等を利用した継続的な情報発信を行うとともに、人権擁護委員の協力を得て幼稚園・小学校での人権教室、小学生の人権ポスター・花パネル展及び街頭啓発活動等を実施し、人権意識の醸成を図った。
中間評価	0101（達成状況）A	
	（実績評価）	・毎年度目標値を達成できているので、引き続き人権意識の醸成を図る。
	（今後の対応）	・目標値以上の実施を目指し、推進していく。

02　男女共同参画社会の推進

達成状況						
指標数	1	1	1	1	1	
達成数	0	0	0	0	0	
達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0201 伊東市男女共同参画「あすを奏でるハーモニープラン」における取組の充実	男女共同参画社会の推進に満足している市民の割合（市民満足度調査）	R2	目標値	66.0	67.0	68.0	69.0	70.0	%	市民課
		64.9%	実績値	58.5	56.4	60.8				
			評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上	

年度評価		
R3	0201	令和３年３月改定の第３次プランに基づき関係各課で取組を進めるとともに、本課ではホームページ等による情報発信のほか、新たに広報紙を利用した継続的な啓発を開始したが、目標値未達成であった。令和４年度においても一層の情報発信と継続的な啓発を行う。
R4	0201	第３次プランに基づき関係各課で取組を進めるとともに、本課では街頭啓発活動や講演会の実施、ホームページ等による情報発信のほか、広報紙による継続的な啓発を実施しているが目標値未達成であった。令和５年度においても一層の情報発信と継続的な啓発を行う。
R5	0201	第３次プランに基づき関係各課で取組を進めるとともに、本課では街頭啓発活動や講演会の実施、ホームページ等による情報発信のほか、広報紙による継続的な啓発を実施しているが目標値未達成であった。次年度へ向けて更なる取組強化を図る。

中間評価	
0201（達成状況）	**D**
（実績評価）	・未だ目標値に達していないが、令和5年度は目標値に最も近づくことができた。
（今後の対応）	・第３次プランにおいて、関係各課と調整を図りながら進捗状況の把握や見直しに努めるとともに、一層の情報発信と継続的な啓発を行う。

03　配偶者等暴力防止対策の推進

達成状況						
指標数	1	1	1	1	1	
達成数	0	0	1	0	0	
達成率	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0301 ＤＶ防止のための啓発活動の充実	啓発活動(街頭啓発・関係機関への周知・ポスター等の掲出等)の実施回数	R1	目標値	3	3	3	3	3	回	社会福祉課
		1回	実績値	2	2	3				
			評　価	× 未達成	× 未達成	○ 達成			以上	

年度評価		
R3	0301	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、伊東市家庭内暴力及び虐待防止連絡協議会は書面開催とした。厚生労働省「支援情報検索サイト」に相談窓口の情報を掲載した。
R4	0301	前年度に引き続き、「伊東市家庭内暴力及び虐待防止連絡協議会」（書面開催）の中での啓発及び厚生労働省の「支援情報検索サイト」への相談窓口情報の掲載に留まったため、関係機関との協議等も含めて新たな啓発活動の展開を図っていく。
R5	0301	「伊東市家庭内暴力及び虐待防止連絡協議会」（書面開催）の中での啓発及び厚生労働省「支援情報検索サイト」への相談窓口情報の掲載を実施した。また、市役所１階女子トイレに内閣府男女共同参画局「DV相談ナビ#８００８」のカードを利用者の目に届くところに掲示した。

中間評価	
0301（達成状況）	**B**
（実績評価）	・定例会議の中での啓発や厚労省のサイトへの掲載を中心に活動を行ってきたが、実績を大きく伸ばすことはできなかった。
（今後の対応）	・より効果的に事業を展開するため、上記以外の活動方法を積極的に取り入れていく。

04　心ゆたかな子どもの育成

達成状況						
指標数	1	1	1	1	1	
達成数	1	0	0	0	0	
達成率	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0401 教育活動全体を通じた計画的、組織的な人権教育の推進	「友だちのことを思いやり行動することができる」児童生徒の割合	R2 91.0%	目標値	92.0	93.0	94.0	95.0	96.0	% 以上	教育指導課
			実績値	93.1	92.8	93.7				
			評　価	○　達成	×　未達成	×　未達成				

年度評価

R3	0401	道徳の教科化に伴う授業改善、各教科や行事・活動の中で人権意識や人権感覚を高める取組を推進してきたことにより、小・中ともに目標値を上回ることができた。
R4	0401	各校は、道徳の授業だけでなく、日常生活の中でも他を思いやる気持ちが育まれるように努めてきたが、目標値をわずかに下回った。令和５年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う教育活動の制限が緩和されるため、児童生徒間のかかわりが増えていくことが期待できる。このような活動を通して、思いやりの心を育てていきたい。
R5	0401	目標値をわずかに下回った。各校では、道徳の授業だけでなく、日常生活の中で他者のよさを見つける活動を今後も継続して取り組み、思いやりの気持ちが育まれるようにする。

中間評価

0401（達成状況）**B−**

（実績評価）・目標値をわずかに下回ったが、各校では、他者のよさを見つけたり人権意識を高める取組を実践している。

（今後の対応）・道徳授業、日常生活、行事等学校生活全般を通して、他者を思いやる心を育む活動を継続的に行う。

05　障がい者（児）への理解の促進・啓発

達成状況						
指標数	3	3	3	3	3	
達成数	1	1	2	0	0	
達成率	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0501 事業所授産品等の展示会・販売会の開催	障がい者による授産品の販売会の開催回数	R1 10回	目標値	11	11	11	11	11	回 以上	社会福祉課
			実績値	1	8	13				
			評　価	×　未達成	×　未達成	○　達成				
0502 障がい者（児）と地域の相互理解の促進	中高生に対する体験授業等及び障害者スポーツ大会の実施回数	R1 2回	目標値	2	2	2	2	2	回 以上	社会福祉課
			実績値	0	1	1				
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				
0503 障がい者（児）虐待防止のための啓発活動の充実	啓発活動(街頭啓発等)の実施回数	R1 1回	目標値	2	2	2	2	2	回 以上	社会福祉課
			実績値	2	2	2				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				

年度評価

R3	0501	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、授産品の販売会を中止し、１回のみの開催となった。
	0502	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和３年度の事業が中止となった。
	0503	ポスター掲示と障害者週間を活用した啓発活動を行った。
R4	0501	販売会を開催予定したが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止したことにより、未達成となった。新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたことに伴い、予定通り開催できるように計画していく。
	0502	障害者スポーツ大会の開催を予定していたが、開催直前に新型コロナウイルス感染の影響を受け中止したことにより、未達成となった。新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたことに伴い、予定通り開催できるように計画していく。
	0503	障害者週間及び障害者差別解消への啓発としてポスター掲示を行った。
R5	0501	定期的な販売会以外に障害者就労施設等のPRのため、伊東マリンタウンにて販売会を行った。
	0502	新型コロナウイルス感染防止のため、障がい者スポーツ大会を中止した。
	0503	障害者週間及び障害者差別解消への啓発としてポスター掲示を行った。

中間評価

0501（達成状況）**B+**

（実績評価）・新型コロナウイルス感染症感染防止のため、販売会等を中止していたが、再開したことにより開催数を確保できた。

（今後の対応）・販売会等を通じて障害者就労施設等に対する市民の理解を深めていきたい。

0502（達成状況）**D**

（実績評価）・新型コロナウイルス感染症の影響から、中高生に対する福祉体験事業は再開できたが、障がい者スポーツ大会は自粛している。

（今後の対応）・障がい者スポーツ大会の中止に伴い、障害者就労施設等にスポーツ大会の開催を依頼した。そこでは、市主催の障がい者スポーツ大会に参加できない重度障がい者も参加できている状況もあるため、効果的なスポーツ大会の開催方法を検討していく。

0503（達成状況）**A**

（実績評価）・啓発については、継続的に行っている。

（今後の対応）・効果的な啓発方法の充実を図る。

06　障がい者雇用の推進

達成状況					
指標数	2	2	2	2	2
達成数	2	2	2	0	0
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0601　ハローワーク等の関係機関との連携	就労関係機関が参加する特別支援学校の就職相談会への参加回数	R1 2回	目標値	2	2	2	2	2	回以上	社会福祉課
			実績値	2	2	2				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0602　熱海伊東地区（圏域）地域自立支援協議会就労支援部会の充実	就労問題に関する事例検討会の実施回数	R1 6回	目標値	6	6	6	6	6	回以上	社会福祉課
			実績値	6	16	14				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				

年度評価

R3	0601　就労促進協議会に２回参加し、特別支援学校の卒業見込みの生徒の進路相談を行った。
	0602　新型コロナウイルス感染防止のため、リモート会議となった場合もあったが、就労支援部会にて、障がい者の就労問題を協議した。
R4	0601　東部特別支援学校伊豆高原分校にて卒業生の進路相談会に参加した。
	0602　就労部会及びそれに付随する部会に参加した。
R5	0601　東部特別支援学校伊豆高原分校にて卒業生の進路相談会に参加した。
	0602　就労支援部会等で事例検討を行った。

中間評価

0601（達成状況）	A
（実績評価）	・東部特別支援学校伊豆高原分校にて卒業生の進路相談会については、継続的に参加している。
（今後の対応）	・今後も参加し、卒業後に支援が必要な人の情報共有を図る。
0602（達成状況）	A
（実績評価）	・対面での就労支援部会等の会議が行われ、事例検討を実施できている。
（今後の対応）	・今後も継続的に就労部会等に参加し、障がい者の就労を支援していく。

担当課		保険年金課、健康推進課
政策目標	2	誰もが健やかに暮らし活躍できるまち
施策分野	9	保険・年金制度の運営
目指す姿		制度加入者が制度の理解を深め、生涯にわたり安心して保険・年金サービスを享受できる

施策２－９の全指標達成率					
年度	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	15	15	15	15	15
達成数	9	9	9	0	0
達成率	60.0%	60.0%	60.0%	0.0%	0.0%

1　成果指標（ＫＰＩ）

	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	2	2	2	2	2
達成数	2	2	2	0	0
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%

成果指標1	制度理解の醸成等を図るための広報による周知	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値	27	28	29	30	31	回	保険年金課
		26回	実績値	29	30	35			以上	
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
目標値の考え方	国民健康保険・後期高齢者医療保険・国民年金制度周知に関する広報紙記事掲載回数									

成果指標2	公平な負担に対する意識向上の取組や適正なサービス受給のための相談会の実施	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値	54	54	54	54	54	回	保険年金課
		54回	実績値	54	54	60			以上	
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
目標値の考え方	国民健康保険税納付・後期高齢者医療保険料納付・国民年金受給に関する相談会開催回数									

R3年度	1（実績評価）	・市民の理解を深めることを目的として、改正又は新制度についても適正回数の周知を実施したため、目標が達成できた。
	（次年度修正点）	・関係機関との更なる連携を深め、迅速な情報収集に努める必要がある。
	2（実績評価）	・公平な賦課、納付、給付を目的として、適正回数の相談会等を実施したため、目標が達成できた。
	（次年度修正点）	・納付相談会については、今後も必要な回数を確保するとともに、年金相談会については、遺漏無き案内を可能とするよう、職員のスキルアップに努める必要がある。
R4年度	1（実績評価）	・市民の理解を深めることを目的として、改正又は新制度についても適正回数の周知を実施したため、目標を達成できた。
	（次年度修正点）	・関係機関との更なる連携を深め、迅速な情報収集に努める必要がある。
	2（実績評価）	・公平な賦課、納付、給付を目的として、適正回数の相談会等を実施したため、目標を達成できた。
	（次年度修正点）	・納付相談会については、今後も必要な回数を確保するとともに、年金相談会については、遺漏無き案内を可能とするよう、職員のスキルアップに努める必要がある。
R5年度	1（実績評価）	・市民の理解を深めることを目的として、改正又は新制度についても適正回数の周知を実施したため、目標を達成できた。
	（次年度修正点）	・関係機関との更なる連携を深め、迅速な情報収集に努める必要がある。
	2（実績評価）	・公平な賦課、納付、給付を目的として、適正回数の相談会等を実施したため、目標を達成できた。
	（次年度修正点）	・納付相談会については、今後も必要な回数を確保するとともに、年金相談会については、遺漏無き案内を可能とするよう、職員のスキルアップに努める必要がある。
中間評価	1（達成状況）	A
	（実績評価）	・市民の理解を深めることを目的として、改正又は新制度についても適正回数の周知を実施したため、目標を達成できた。
	（今後の対応）	・関係機関との更なる連携を深め、迅速な情報収集に努める。
	2（達成状況）	A
	（実績評価）	・公平な賦課、納付、給付を目的として、適正回数の相談会等を実施したため、目標を達成できた。
	（今後の対応）	・納付相談会については、今後も必要な回数を確保するとともに、年金相談会については、遺漏無き案内を可能とするよう、職員のスキルアップに努める。

2　基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）									※ 基本的な取組・主な内容の達成状況
			指標数	13	13	13	13	13	
			達成数	7	7	7	0	0	
			達成率	53.8%	53.8%	53.8%	0.0%	0.0%	
01　情報提供の充実		達成状況	指標数	1	1	1	1	1	
			達成数	1	1	1	0	0	
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位 / 担当課
0101　窓口配架、広報紙、ホームページの活用、被保険者証や保険料（税）通知書へのパンフレット同封による配布	広報実施回数	R1 26回	目標値	27	28	29	30	31	回 以上 / 保険年金課
			実績値	36	37	42			
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成			

年度評価	
R3	0101　市民の理解を深めることを目的として、改正又は新制度についても適正回数の周知を実施したため、目標が達成できた。
R4	0101　市民の理解を深めることを目的として、改正又は新制度についても適正回数の周知を実施したため、目標を達成できた。
R5	0101　市民の理解を深めることを目的として、改正又は新制度についても適正回数の周知を実施したため、目標を達成できた。

中間評価	
0101（達成状況）A	
（実績評価）	・市民の理解を深めることを目的として、改正又は新制度についても適正回数の周知を実施したため、目標を達成できた。
（今後の対応）	・広報等による更なる周知に努める。

02　相談業務の充実

達成状況						
指標数	4	4	4	4	4	
達成数	3	3	4	0	0	
達成率	75.0%	75.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0201 関係機関との連携※9	未納者対策用所得情報提供回数※9	R1 3回	目標値	3	3	—	—	—	回以上	保険年金課
			実績値	1	1	—	—	—		
			評　価	× 未達成	× 未達成	—	—	—		
0202 説明会・研修会への参加	参加回数	R1 27回	目標値	27	27	27	27	27	回以上	保険年金課
			実績値	34	27	27				
			評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
0203 窓口・電話対応	課内研修回数	R1 4回	目標値	4	4	4	4	4	回以上	保険年金課
			実績値	4	4	4				
			評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
0204 相談会の実施	開催回数	R1 54回	目標値	54	54	54	54	54	回以上	保険年金課
			実績値	54	54	60				
			評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
0205 関係機関との連携 ※9	所得情報提8回数※9	R1 3回	目標値	—	—	2	2	2	回以上	保険年金課
			実績値	—	—	2				
			評　価	—	—	○ 達成				

年度評価

R3

- 0201 新型コロナウイルス感染症の影響により、従来と比べ規模が縮小されたため、目標の達成には至らなかった。
- 0202 リモートや書面開催により、従来以上の参加回数が確保されたため、目標が達成できた。
- 0203 制度に対する理解の醸成を目的として、年度当初において年長者から配置職員にOJT研修を実施したこともあり、目標が達成できた。
- 0204 公平な賦課、納付、給付を目的として、適正回数の相談会等を実施したため、目標が達成できた。

R4

- 0201 マイナンバーを活用した連携による情報提供が可能となったことで、未納者の情報提供をする機会がなくなったことから、目標未達成となった。今後もマイナンバーによる連携を行うため、管理指標を見直し、管理指標0205を新設した。
- 0202 リモートや書面開催により、参加回数が確保されたため、目標を達成できた。
- 0203 制度に対する理解の醸成を目的として、年度当初において年長者から配置職員にOJT研修を実施したこともあり、目標を達成できた。
- 0204 公平な賦課、納付、給付を目的として、適正回数の相談会等を実施したため、目標を達成できた。
- 0205 マイナンバーを活用した連携による情報提供が可能となったことで情報提供回数等が減ったため、管理指標を新設した。

R5

- 0202 リモートや書面開催により、参加回数が確保されたため、目標を達成できた。
- 0203 制度に対する理解の醸成を目的として、年度当初において年長者から配置職員にOJT研修を実施したこともあり、目標を達成できた。
- 0204 公平な賦課、納付、給付を目的として、適正回数の相談会等を実施したため、目標を達成できた。
- 0205 年金機構への所得情報提供（免除及び年金生活者支援給付金）を行ったため、目標を達成できた。

中間評価

0202（達成状況） **A**

（実績評価）・リモート開催により、参加回数が確保されたため、目標を達成できた。

（今後の対応）・説明会・研修会には積極的に参加し、職員のスキルアップに努める。

0203（達成状況） **A**

（実績評価）・制度に対する理解の醸成を目的として、年度当初において年長者から配置職員にOJT研修を実施したこともあり、目標を達成できた。

（今後の対応）・定期的に研修会を実施し、職員のスキルアップに努める。

0204（達成状況） **A**

（実績評価）・公平な賦課、納付、給付を目的として、適正回数の相談会等を実施したため、目標を達成できた。

（今後の対応）・必要な回数を確保し、相談体制の確保に努める。

0205（達成状況） **B**

（実績評価）・年金機構への所得情報提供（免除及び年金生活者支援給付金）を行ったため、目標を達成できた。

（今後の対応）・関係機関との更なる連携を深め、迅速な情報収集に努める。

※9　マイナンバーを活用した連携による情報提供が可能となったことで情報提供回数等が減ったため、管理指標0201を改め、管理指標0205を新設した。

03　保険料（税）収納率向上

達成状況						
指標数	2	2	2	2	2	
達成数	2	2	2	0	0	
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0301	口座振替等の便利な納付方法や減免制度についての周知強化	広報実施回数	R1 6回	目標値	6	6	6	6	6	回以上	保険年金課
				実績値	8	11	18				
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0302	各種手続・相談時の案内強化	課内研修回数	R1 4回	目標値	4	4	4	4	4	回以上	保険年金課
				実績値	4	4	4				
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成				

年度評価

R3	0301　市民の適正な納付に加え、減免制度の利用を目的として、適正回数の周知を実施したため、目標が達成できた。
	0302　制度に対する理解の醸成を目的として、年度当初において年長者から配置職員にOJT研修を実施したこともあり、目標が達成できた。
R4	0301　市民の適正な納付に加え、減免制度の利用を目的として、適正回数の周知を実施したため、目標を達成できた。
	0302　制度に対する理解の醸成を目的として、年度当初において年長者から配置職員にOJT研修を実施したこともあり、目標を達成できた。
R5	0301　市民の適正な納付に加え、減免制度の利用を目的として、適正回数の周知を実施したため、目標を達成できた。
	0302　制度に対する理解の醸成を目的として、年度当初において年長者から配置職員にOJT研修を実施したこともあり、目標を達成できた。

中間評価

0301（達成状況）	A
（実績評価）	・市民の適正な納付に加え、減免制度の利用を目的として、適正回数の周知を実施したため、目標を達成できた。
（今後の対応）	・広報等による更なる周知に努める。
0302（達成状況）	A
（実績評価）	・制度に対する理解の醸成を目的として、年度当初において年長者から配置職員にOJT研修を実施したこともあり、目標を達成できた。
（今後の対応）	・必要な回数を確保し、職員のスキルアップに努める。

04　医療費適正化への取組

達成状況						
指標数	6	6	6	6	6	
達成数	1	1	0	0	0	
達成率	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0401 ジェネリック医薬品の普及促進	ジェネリック医薬品使用割合	R1 75.9%	目標値	77.0	78.0	79.0	80.0	81.0	% 以上	保険年金課
			実績値	77.1	78.4	78.4				
			評　価	○　達成	○　達成	×　未達成				
0402 特定健康診査の実施 ※10	受診率	R1 49.8%	目標値	56.5	58.0	60.0	45.0	48.0	% 以上	健康推進課
			実績値	42.2	45.3	46.8				
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				
0403 後期高齢者健康診査の実施	受診率	R1 31.3%	目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	% 以上	健康推進課
			実績値	33.9	36.5	38.4				
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				
0404 一日人間ドックの実施	受診者数（国保）	R1 371人	目標値	400	400	400	400	400	人 以上	健康推進課
			実績値	315	330	314				
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				
	受診者数（後期高齢）	R1 69人	目標値	130	150	180	180	180	人 以上	健康推進課
			実績値	121	149	150				
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				
0405 健康指導の実施 ※10	特定保健指導実施率	R1 33.8%	目標値	49.0	54.0	60.0	35.0	40.0	% 以上	健康推進課
			実績値	30.5	26.3	18.6				
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				

年度評価

R3

- 0401 高額療養費の申請案内の封筒や市ホームページへの広報文掲載、保険証に貼ることができるジェネリック医薬品希望シールを保険証更新時に同封するなどの取組により目標達成できた。
- 0402 新型コロナウイルス感染症拡大により、受診控えなどの影響に加え、積極的な受診勧奨を控えていた時期等があったため、受診率は減少した。
- 0403 後期高齢者被保険者対象者の増加傾向にあわせて、受診率は増加している。
- 0404 （国保）応募は345人だったが、最終的に30人が未受診となった。新型コロナウイルス感染状況の影響もあったと考える。（後期）応募は145人だったが、最終的に9人が未受診となった。国保同様の理由が一因と思われる。
- 0405 保健師等からの電話による利用勧奨や、医療機関等による利用勧奨などを実施しているが、勧奨通知だけでは利用に至らないケースが多く、また、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での指導を拒否するケースもあったため、実施率は減少した。

R4

- 0401 高額療養費の申請案内の封筒や市ホームページへの広報文掲載、保険証に貼ることができるジェネリック医薬品希望シールを保険証更新時に同封するなどの取組により目標達成できた。
- 0402 特定健診は新型コロナウイルス感染拡大の影響があるものの、勧奨等に工夫を加え受診行動に繋げるよう取り組んだことで、前年度を上回った受診率となったが、目標には至らなかった。引き続き県等の助言を受けながら、勧奨等に工夫を加え、受診対象者の行動変容を促したい。
- 0403 目標値を下回ったものの、後期高齢者健診事業では堅実な増加傾向がある。引き続き、目標達成に向けて事業周知をしていき、受診率の向上に繋げる。
- 0404 国保）応募は３５８人だったが、最終的に２８人が未受診となった。後期）応募は１７２人だったが、最終的に２３人が未受診となった。国保は被保険者の減少傾向に応じた検討を図り、後期は被保険者の増加に応じて定員増を図ったが定員に達しなかった。今後は応募及び被保険者の増減動向を見極めた募集定員設定等の対応を図りたい。受診者数の定員を増やしたことに伴い、目標値を修正した。
- 0405 個別対応となる特定保健指導については、経済活動を優先するなど利用を控える傾向が見られ、前年度を下回った。ＩＣＴの利活用など、対象者も気軽に利用できるサービス提供に努めたい。

R5	0401	メーカーの薬機法違反を契機とした供給量の低下や、新型コロナウイルス感染拡大による需要の増加により、メーカーの限定出荷による供給不足が続いたため、目標を達成できなかった。
	0402	前年比増となった。継続的受診勧奨事業が有効であった。今後の課題である未受診者へのアプローチを検討していく。
	0403	前年比増となった。国民健康保険で特定健診を受診した被保険者の継続受診が習慣化したものと推察する。引き続き、受診機会を維持提供していく。
	0404	（国保）応募は346人だったが、最終的に32人が未受診となった。（後期）応募は160人だったが、最終的に10人が未受診となった。広報等で募集案内をしているが、定員に満たなかったため、新たなデバイス（スマホ、PC）からの募集方法を図り、定員確保に努める。
	0405	特定保健指導対象者に対して面談方法等の機会を複数用意しているが、４０、５０歳代の利用率の低さに加えて、勧奨専門職員の確保が困難であった。引き続き、有資格者専門職人員の安定的確保を図り、事業の充実に努めていく。

中間評価	0401	（達成状況）	B-
		（実績評価）	・メーカーの薬機法違反を契機とした供給量の低下や、新型コロナウイルス感染拡大による需要の増加により、メーカーの限定出荷による供給不足が続いたため、目標を達成できなかった。
		（今後の対応）	・高額療養費の申請案内の封筒や市ホームページへの広報文掲載、保険証に貼ることができるジェネリック医薬品希望シールを保険証更新時に同封するなどの取組を行う。
	0402	（達成状況）	D
		（実績評価）	・新型コロナウイルス感染症に係る受診控え等の影響から回復基調にある。
		（今後の対応）	・引き続き、未受診者等を階層化させ、個別具体性のあるアプローチ方法を図っていく。
	0403	（達成状況）	B-
		（実績評価）	・目標値を下回ったものの、着実に実施率は伸びている。
		（今後の対応）	・引き続き、多くの被保険者の継続受診が習慣化するように、対象者に受診機会を提供していく。
	0404	（達成状況）	D
		（実績評価）	・後期高齢者一日人間ドックについて、令和４年度までは応募数が募集定数を上回る状況であったため、募集定数の増加を図ってきたが令和５年度の応募者数は、前年度と比べ７％減となった。
		（今後の対応）	・一日人間ドックの応募者数の増加を図るため、インターネット申込み等、申込み方法を選択できるよう検討する。
	0405	（達成状況）	D
		（実績評価）	・慢性的な利用者の少なさに加え、指導体制に不可欠な専門職の確保が十分にできず、実施率は低下傾向となった。
		（今後の対応）	・新たに策定した伊東市国民健康保険第４期特定健康診査等実施計画に基づき、対象者が自身の健康状態を自覚し、生活習慣の改善のための自主的な取り組みを継続的に行うことができるよう支援するなど、市民の生活習慣病対策を講じていく。

※10　令和6年度及び7年度の目標値については、伊東市国民健康保険第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画に基づき、再設定した。